

コロナ対策打ち合わせ記録

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年11月5日（金） 11時10分～11時40分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、教育長、総務部長、知事室長、保福部長、コロナ監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について本部会議において報告することとした。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 全道の新規感染者は15日連続で先週比減が続いており、医療提供体制については、療養者数、入院患者数も減少が続いている。一方で、旭川市内で飲食店の集団感染が連続して発生しており、道北圏では大きく増加している。（総政） ● 旭川市については、道としても、市への保健師派遣や国立感染研へ専門家の派遣依頼を行っている。感染研からは専門家が2名、8日から現地入りする予定。引き続き、市や国と連携しながら、疫学調査の徹底、幅広い検査、未接種者へのワクチン接種の促進、飲食店への普及啓発など、感染症対策の支援に取り組んでいく。（保福） ● 有識者や専門家等から感染状況等の認識について概ね妥当であるとのこと意見をいただいている。その際、「3回目のワクチン接種について、その効能や必要性を道民に広く周知し、理解を得るとともに、実施主体となる市町村において混乱が生じないように、接種に必要な情報を速やかに、かつ適切に提供していただきたい」「感染状況に注意して適切な対応を臨機応変に行っていただきたい」といったご意見をいただいております、今後の取組の参考としていく。（総政） ○ 旭川市において感染確認が続いていることに注意しなければならない。市と連携を図りながら、これ以上の感染拡大を防ぐよう、しっかりと取り組んでほしい。 ○ これから窓を閉めることの多い冬を迎え、会食の機会も増える。その他の地域においても、改めて様々な機会を活用して、三密の回避、マスクの着用、手指消毒、換気といった基本的感染防止行動の実践を呼びかけてほしい。 ○ また、感染が広がる前の早期の探知・対応が重要であり、市町村や関係団体と連携しながら、地域の状況に応じて、機動的に対応を進めてほしい。 ● 今後の感染拡大に備え、必要な病床数の考え方など「保健・医療提供体制の構築方針」を取りまとめ、必要な病床数を2,000床としたところ。 ● また、臨時医療施設に転用可能な宿泊療養施設の設備整備が完了し、感染が拡大した際に130床の臨時医療施設が稼働できる体制が整った。これらも踏まえ、今後、医療機関等と協議を進め、11月中に具体的な病床数を確定していく。（以上、保福） ○ 今後の病床の確保に当たっては、臨時医療施設も効果的に活用しながら、スピード感を持って調整に当たってほしい。 ○ ワクチン接種について、7割を超える方が2回目の接種を終えたが、引き続き、希望する方への接種の促進を図るとともに、12月から予定されている3回目のワクチン接種に向けて、万全の体制で取り組んでほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年11月17日（水） 13時20分～13時50分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、総政部長、知事室長、コロナ監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長、誘客担当局長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 先日国から示された「次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像」や「新たなレベル分類の考え方」を踏まえ、11月19日にも政府対策本部において基本的対処方針が改訂される見通し。 ● また、昨日開催された国の新型コロナウイルス感染症対策分科会で示された、ワクチン接種の進捗を踏まえた「飲食・イベント・移動の制限緩和の考え方」についても、基本的対処方針に反映される見込み。 ● イベントの開催制限については、主催者等が「感染防止安全計画」を策定した場合に人数制限の緩和が認められることとされており、道においても要請内容の変更が必要となる。 ● 基本的対処方針の改訂内容を確認し、現行の「冬の感染拡大防止に向けて」の改定も含め、警戒ステージの見直しやイベントの開催制限の見直しなど、必要な検討を行っていく。（以上、総政） ● 飲食店等については、第三者認証を取得した店舗は感染拡大時に営業時間や酒類提供の制限を緩和することが対処方針に盛り込まれる見込み。（経済） <ul style="list-style-type: none"> ○ 国から全体像が示され、比較的感染が落ち着いている時期に、次の感染拡大に備えた体制を整えていくことが重要。基本的対処方針などにおける国の考え方を確認し、速やかに検討を進めてほしい。 ○ レベル分類については、北海道特有の課題として、地域運用のあり方について検討が必要。これまでの経験等も踏まえつつ、有識者の皆さんのご意見等も伺いながら検討してほしい。 ○ また、第三者認証制度については、そのメリットをアピールし、認証取得を促進していくことが必要。基本的対処方針に示される内容については、速やかに関係団体やこれまでの取組にご協力いただいた飲食店等の方々にお知らせしてほしい。 ● ワクチンの追加接種について、感染拡大防止、重症化予防の観点から、2回目接種完了から原則8か月以上経過した18歳以上の方を対象に、12月より順次実施することとされた。道としても、円滑な接種に向けて市町村等との調整を進めていきたい。（保福） ○ 国は、例外的に6か月以上での接種が可能となる場合もあるとしているが、どのような場合に前倒しできるかが明確ではない。全国知事会などを通じて、具体的な手続や基準などについてしっかり情報収集し、万全の体制で市町村の支援に取り組んでほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年11月19日（金） 10時40分～11時20分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 知事室長、保福部長、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、 経済部次長、観光局誘客担当局長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「冬の感染拡大防止に向けて」等について本部会議において協議することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 今朝開催された国の基本的対処方針分科会において、対処方針が全面改訂されることが了承され、本日夜にも政府対策本部で決定される見込み。 ● 改訂内容としては、全体の項目立てが見直され、先日決定された「全体像」に基づく記載が盛り込まれたほか、緊急事態宣言の発出等の考え方や行動制限の緩和について考え方が示された。 ● 対処方針を踏まえ、国の分科会の考え方を踏襲しながら、警戒ステージの見直しの検討を加速していきたい。論点としては、レベル2の指標設定、レベルごとの対策、地域運用のあり方がある。 ● レベル2の指標は、第5波の数値やレベル3の数値の水準を考慮して設定することとし、地域運用については、本道の医療の運用状況や札幌市における対策の重要性などを踏まえて検討している。こうした論点について整理し、来週にも有識者等から意見を伺うこととしたい。 ● イベントの開催制限の見直しに伴う「冬の感染拡大防止に向けて」の改定等については、有識者や専門家等に意見を伺っており、概ね妥当であるとのことをご意見をいただいている。その際、「ブレイクスルー感染によるクラスターが発生しており、感染予防対策の緩みが心配。今一度感染予防対策を呼びかけていただきたい」「徐々に通常の流れに戻していくプロセスは必要だと思うので、引き続き、様々な取組をお願いしたい」といったご意見もいただいております。今後の取組の参考としていく。（以上、総政） ● 基本的対処方針で、感染が拡大した場合は、第三者認証店における営業時間等の制限の緩和が行われることとされた。取得促進に向けて、全道の時短支援金を支給した飲食店等に対するメールでの周知や、関係団体や振興局を通じた周知を行ったほか、21日には新聞広告により周知を図る予定。（経済） ○ レベル分類については、ワクチン接種の進捗などを踏まえ、地域の実情に応じて機動的に対策を講じていくという考え方が示されたと受け止めているが、全国的な対策の統一性から、緊急事態措置の適用の考え方、レベル2の指標の水準等については、国から示していただく必要がある。全国知事会とも連携しながら、国の考え方を求めてほしい。 ● 新しい旅のスタイルについて、これまで同居者または個人に限定していた要件を解除するとともに、12月5日チェックアウト分まで期間を延長したい。また、どうみん割についても、12月6日から12月29日までの期間で実施することとしたい。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">● 有識者や専門家等からは概ね妥当であるとのことをご意見をいただいているが、「提唱したスタイル自体は今後も呼びかけが続けられるべき」「ワクチン接種していても、引き続きの基本的な感染対策を求めるよう周知」といったご意見もあり、今後の取組の参考としていく。(以上、観光)○ 感染状況は大きく改善してきているが、旭川市や札幌市で感染が継続するなど、引き続き警戒が必要。今後、忘年会など社会経済活動が活発になってくる。感染リスクの高い時期であることを改めて共有し、基本的な感染防止行動の実践を強く呼びかけてほしい。 |
|--|--|

(了)

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年11月25日(木) 10時35分～11時05分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、小玉副知事、総務部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、教育部長、財政局長、政策局長、政策局次長、交通政策局長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日、有識者会議を開催し、新たなレベル分類に対する道の考え方について説明を行った。有識者からは「レベルの指標などについては客観的な指標を設定し、道民の皆様にはわかりやすく発信してほしい」「札幌市を対象とするレベル運用を重視することや地域を限定した対策を個別に検討することは必要かつ合理的」「札幌市を対象としたレベル運用は通勤や通学圏を考慮して検討すべき」といった意見をいただいた。 ● 現在、専門家、市町村や関係団体にもご意見を伺っているところであり、また、国に対しては、最低限の基準や統一的な指標、レベル評価と緊急事態宣言等との関係の明確化などについて考え方を示すよう求めている。有識者や専門家等の意見を踏まえつつ、引き続き、全国知事会と連携して、国の考え方などを確認しながら、具体的な見直しの検討を進めていきたい。(以上、総政) ● Go To Eat 事業について、販売期限、利用期限ともに12月15日までとしていたが、国との協議が整い、販売期限を12月24日まで、利用期限を1月31日まで延長できることとなった。(経済) ○ 引き続き、旭川市、札幌市における感染確認が続いている。これから忘年会や新年会などが増え、また、屋内での活動も増える。年末年始に向けて、道民の皆様には、感染防止行動の実践をお願いしていくことが重要。Go To Eat はそうした行動を実践した上で、活用いただけるよう取り組んでほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年11月29日(月) 16時45分～17時25分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「年末年始における感染拡大防止に向けて」等について本部会議において協議することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 南アフリカで確認されたオミクロン株について、国立感染症研究所が「懸念すべき変異株」に指定し、国は、更なる水際対策の強化を検討している。 ● 道においても、情報収集を進め、海外や道外に滞在歴のある患者について、保健所設置市と連携し、原則すべての検体を対象にゲノム解析を実施するなど監視体制を整えていきたい。また、スクリーニング検査についても、手法が確立され次第、速やかに対応していく。(以上、保福) ○ オミクロン株の早期探知、早期介入に向け、監視体制を強化してほしい。オミクロン株にはまだ不明な点が多いとされているが、これまでと同様、基本的な感染防止行動が重要。道民の皆様には、手指消毒やマスク着用など、これまでお願いしてきた基本的な対策の徹底をお願いしてほしい。 ● これから年末年始を迎え、忘年会や新年会、成人式などの行事、また、正月休みを利用した帰省や旅行などにより、普段会わない方と会う機会が増え、屋内における活動も活発となる。こうした点も踏まえ、「年末年始における感染拡大防止に向けて」として取りまとめ、改めて呼びかけを行ってきたい。(総政) ● 「保健・医療提供体制確保計画」を策定したところであるが、改めて国から医療機関別の確保病床数の公表方針が示された。医療機関と再度調整した上で、確保病床数を速やかに確定していきたい。(保福) ● レベル分類に関しては、11月26日の政府主催の全国知事会議の場において、福島県知事から総理に対して、レベル区分に関する最低限の基準の提示や特措法との関係の明確化を直接求めていただいた。 ● 国からは基本的対処方針以上のことは示されていない状況であり、そうした状況を踏まえて具体的な案を検討している。具体案を取りまとめ次第、有識者等のご意見を改めて何うとともに、道議会での議論を踏まえ、決定していきたい。 ● 現在、5段階のレベル分類とし、レベル2の指標を設定する、原則、全道域で運用し、札幌市を対象とした運用も行いつつ、地域を限定した対策を検討していく方向、また、レベルごとの対策は現在の対処方針を踏まえて対応していくこととしている。(以上、総政) ○ 帰省してくる方との飲食の機会が多くなる年末年始に向けた対応が重要であり、道民の皆様への呼びかけはもとより、病床確保を含め、医療提供体制の強化にもしっかり取り組んでほしい。 ● 3回目のワクチン接種が12月1日から順次始まる。国は例外的に8か月を待たずに接種できる場合の基準を示したが、今後の拡大に備え、その基準について見直す可能性もあるとしている。

	<ul style="list-style-type: none">● また、追加接種に使用するワクチンについては、国から示された配分を踏まえると、これまでファイザー製のワクチンを接種した方についても、モデルナ製を接種する「交接種」が必要になると見込まれ、それを前提とした配分のほか、市町村における接種体制の整備を行っていくことが必要。（以上、保福）○ 引き続き、国からの情報収集に努めるとともに、市町村等からの意見や課題を丁寧に把握・整理し、追加接種の円滑な実施に向けて、しっかり対応してほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>
--	--

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年12月8日（水） 9時05分～9時35分
場 所	知事応接室
出席者	知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「北海道におけるレベル分類」等について本部会議において協議することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 先日まとめた「北海道におけるレベル分類」（道案）について、有識者等からは概ね妥当であるとの意見をいただいている。その際、「レベル2では、第5波のデータ分析を基に新規感染者数などを指標とすることに異論無し」「道民一人一人が自分ごととして必要な対応が取れるよう呼びかけをお願いする」といったご意見のほか、「レベル2における対応の目安として、具体的な内容が示されていないことから、運用する際には、事前の周知に努めていただきたい」といったご意見をいただいた。 ● この度の議会議論においても、新たな変異株への対応やわかりやすい発信、明確な指標の必要性などについて指摘もいただいた。このため必要な修正を行うとともに、基本的対処方針に盛り込まれている行動変容や緊急事態措置の発出の考え方などについて記載する。 ● 本日の本部会議で新たなレベル分類を決定した場合、その指標に基づく、全道がレベル1となる。それらを決定した上で、引き続き、「年末年始における感染拡大防止に向けて」に基づく取組について、呼びかけを行っていきたい。（以上、総政） ● 昨日、国から、「保健・医療提供体制確保計画」の概要等と合わせて、医療体制の見える化として、患者受入医療機関名や確保病床数が公表された。道の病床についてはフェーズ3で2,028床、新たに設けた緊急フェーズで2,214床を確保している。（保福） ○ 今後、新規感染者数の動向を把握しながら、医療ひっ迫の状況に重点を置いて、レベルの移行を検討していくこととなる。引き続き、医療提供体制の充実を図ってほしい。 ○ オミクロン株については、まだ明らかになっていないことも多い。引き続き、情報収集を行うとともに、感染リスクの高まる年末年始を迎えることから、その動向を注視し、必要に応じ、レベルの移行など、迅速かつ機動的な対応ができるよう万全の体制を整えてほしい。 ● 道内の全179市町村から、11月末までに希望者への2回接種を完了したとの報告を受けた。引き続き、希望される方が円滑に接種を受けられるよう、市町村と連携して取り組んでいく。 ● また、接種場所が限定されるモデルナ社製、アストラゼネカ社製ワクチンの接種希望者に対応するため、接種可能な医療機関を確保し、本日から予約受付を開始する。（以上、保福） ○ 岸田首相が所信表明演説で3回目の接種間隔の前倒しについて言及した。引き続き、国からの情報収集に努め、ワクチンの安定的な供給や市町村の準備期間確保への配慮について国に求めるなど、必要な対応をとってほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年12月24日（金） 11時25分～12時10分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	<p>感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について、本部会議において報告することとした。</p>
発言者 及び主な 発言内容	<p style="text-align: center;">〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況等について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規感染者や病床使用率などは、医療施設や事業所等における集団感染の発生などにより、前の週より増加している。 ● 感染リスクが高まる時期を迎え、クリスマスや忘年会などの場面における感染防止行動の実践について、周知を図っていききたい。 ● 感染状況等の認識について、有識者等からは概ね妥当であるとの意見をいただいている。その際、「感染防止行動の徹底等のアナウンスをお願いしたい」「3回目ワクチン接種について、市町村が計画どおり対応できるよう、ワクチンの確保と接種相談窓口でのフォローをお願いしたい」「オミクロン株のまん延は時間の問題であり、道内で早ければ1月にも爆発的な感染拡大が起こることを想定した対応方針を確認しておくべき」「ワクチン接種について、オミクロン株により、道民の関心が高まっている今が好機であり、1人でも多くの方に接種いただけるよう、更なる加速に向けた対応をお願いしたい」といったご意見をいただいております、今後の取組の参考としていく。 (以上、総政) ● オミクロン株については、国内では市中感染が疑われる事例も生じてきており、国の専門家からは、今後、感染拡大が急速に進むことを想定すべきとの懸念が示されている。道内では11月1日から昨日までに297件のゲノム解析を行っているが、道内ではまだ確認されていない。今後感染が確認された場合の入院等の対応について、改めて周知し、共有を図る。 ● ワクチン・検査パッケージ制度の推進に必要な無料検査等については、ワクチン接種を受けられない方を対象に、来週から開始するよう調整している。全道域への拡大も順次図っていききたい。 ● 経口治療薬については、本日にも国の薬事承認後に、対応薬局等に対して国から直接配送される予定。 ● 年末年始は多くの医療機関が休診となることから、体制の確保を図りながら、発熱の相談窓口等の周知を行っていく。 ● 12月22日にファイザー製ワクチン3回目第3クールの追加分及びモデルナ製ワクチン3回目第2クールの配分が示された。現在各市町村への配分量を整理している。今回の配分により来年4月前半頃までに必要となるワクチンは確保される見込み。これまでの接種で未使用となっている残余ワクチンも活用し、市町村と連携して、円滑な接種に取り組んでいききたい。(以上、保福) ○ 先日、岸田総理から、3回目の接種間隔について、医療従事者や高齢者施設入所の方などについては6か月、一般の高齢者の方は7か月に短縮可能との考え方が示された。今後、各市町村での前倒し接種が円滑に進められるよう、しっかりとサポートしてほしい。 ○ 無料検査については、早期に全道で受けることができるよう準備を進めるとともに、道民の皆様にもしっかりと周知を図ってほしい。

- 学校等における感染症対策を進めるため、感染症対策改善セミナーを開催し、専門家から手指消毒や換気の具体的な状況に即したご助言をいただいた。今後対策の強化ポイントを整理し、周知していきたい。
- 学校の冬休み期間中の感染拡大防止に向けた注意喚起のリーフレットを児童生徒・保護者に配付したほか、いじめや差別偏見などに関する教育相談窓口について改めて周知したところであり、引き続き、学校や家庭と連携して、児童生徒の感染防止対策を徹底していく。（以上、教育）
- これからクリスマスや忘年会、帰省などに伴い、会食の機会が増える時期を迎える。今後の感染拡大に十分注意し、飲食の場面では感染対策が徹底された店を選ぶ、会話の時はマスクを着用するなど、改めて基本的な感染防止行動を実践いただくよう呼びかけてほしい。
- 年末年始は、多くの医療機関も休診となるが、感染力が強いとも指摘されているオミクロン株に対し、高い警戒感を維持して対応することが必要。検査・保健・医療提供体制について、医療機関等との連携を十分に図るとともに、冬休み期間における業務や連絡体制について再確認するなど、万全の体制をとってほしい。

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年1月4日（火） 11時00分～11時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p style="text-align: center;">〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本日、札幌市において、関西在住の40代男性が道内初となるオミクロン株の陽性者として確認された。行動歴から不特定多数との接触は見られず、濃厚接触者は、航空機同乗者の一部や家族に特定されている。 ● 既に陽性者は入院していただいております。また、濃厚接触者のうち、道内に滞在が確認されている方はPCR検査を行い、陰性を確認済であるが、宿泊療養施設に滞在いただくなど、必要な対応をとっている。 ● 道内1例目であり、道内全域への注意喚起のため、道において公表することとしたい。 ● 国はオミクロン株の市中感染が疑われる事例の発生した地域における無料検査の対象を拡大した。今後、道内で市中での感染が確認された場合には、感染に不安を感じる方への無料検査を速やかに実施できるよう、国とも協議を行っている。（以上、保福） ○ 道内で初めて確認されたことを踏まえ、さらに警戒を強めて対応していかねばならない。国内でもオミクロン株が拡大しており、引き続き、原則すべての検体についてゲノム解析を進めるとともに、オミクロン株スクリーニング検査の準備やワクチン接種の前倒しのサポート、経口治療薬の提供支援などに取り組んでほしい。 ○ オミクロン株はデルタ株と比べて感染力が強いとされているが、基本的な感染防止対策はこれまでと変わらない。道民の皆様には、警戒感を高めつつ、冷静な行動をとっていただくようお願いしたい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年1月7日（金） 10時30分～11時15分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、小玉副知事、 総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、教育部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について、本部会議において報告することとした。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 本日、複数の道立保健所管内で11例のオミクロン株感染事例が確認された。このうち3例は道外滞在歴のある方、2例は市中感染の可能性のある方、残りの6例はこれらの陽性者との接触があった方となっている。公表内容を整理し、本日の本部会議で報告した後に、記者ブリーフィングを実施し説明する予定。 ● オミクロン株の市中での感染確認を踏まえ、明日1月8日から2月7日まで、現在17か所登録されている無料検査事業所において、ワクチン接種の有無にかかわらず、感染の拡大に不安を感じる無症状の方を対象にしたい。 ● また、国の通知を踏まえ、オミクロン株についてもデルタ株と同様、陽性者は症状に応じて入院や宿泊療養、自宅療養とするほか、濃厚接触者は自宅待機とする取扱いとしたい。 ● 本日の本部会議において、道衛研感染症センター長から、オミクロン株に関する国立感染症研の分析内容などについて報告の予定。（以上、保福） ● 今朝開催された国の基本的対処方針分科会において、広島県、山口県、沖縄県に1月9日から31日までまん延防止等重点措置が適用されることとされ、本日夜にも政府対策本部で決定される見込み。 ● 道内の感染状況はレベル2の水準を下回っているが、全国的に新規感染者数が急増しており、国の専門家からは、既にデルタ株からオミクロン株への置き換わりが進んでいる地域もあることや、今後、感染拡大が急速に進むおそれがあることが指摘されている。 ● オミクロン株の広がりや年末年始の人の移動の影響などを踏まえると、道内でも今後の感染拡大が想定されることから、「冬期間における感染拡大防止に向けて」として、新年会や成人式などにおける感染防止行動の実践を改めて呼びかけていくこととしたい。重点措置対象県への不要不急の移動も極力控えるよう呼びかけることとしたい。（以上、総政） ● 今週末の3連休には多くの市町村で成人式が催される。改めて、感染防止行動の徹底や、式典後の飲食を控えることなど、各市町村と感染拡大防止に向けて連携していきたい。（教育） ○ オミクロン株の市中での感染が確認されたことを踏まえ、感染拡大への高い警戒感をもって対応していかなければならない。 ○ スクリーニング検査の準備や経口治療薬の提供支援などにしっかりと取り組むとともに、国の通知を踏まえ、入院等の取扱いの変更など、機動的に対応してほしい。 ○ オミクロン株でも基本的で適切な感染対策は有効とされている。改めて、道民の皆様に基本的な感染防止行動の実践をお願いしてほしい。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">○ 特に、成人式前後の飲食の場面では、できる限り飲食を控えること、仮に飲食を行う場合には、認証店など感染防止を徹底しているお店を選び、短時間、大声を出さない、深酒をしない、会話はマスク着用などについて、市町村と連携し、呼びかけを行ってほしい。○ 無料検査の対象を拡大するが、症状のある方、いつもと体調の違う方には、外出や移動を控え、積極的にかかりつけ医などを受診いただくことが重要。その上で、オミクロン株の感染拡大地域との往来があるなど感染に不安のある無症状の方は無料検査を受検いただくようしっかり周知してほしい。 |
|--|--|

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年1月14日（金） 11時50分～12時40分
場 所	知事応接室
出席者	知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、総務部長、危機管理監、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	<p>感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について、本部会議において報告することとした。</p>
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規感染者数及び療養者数は、先週から比較して大きく増加し、13日にレベル2の指標を上回る状況となった。 ● 病床使用率はレベル2の指標を下回っているが、全国的にオミクロン株の広がりとともに感染が拡大しており、道内でも、これまで59人のオミクロン株感染が確認されている。今後さらに感染が拡大し、医療への負荷が急速に高まるおそれがあることから、警戒感をさらに高めていく必要がある。 ● 医療への負荷をより重視するという国の考え方に変更はない。現在若年層の感染者が多く、入院患者が急速に増加している状況ではないが、今後の新規感染者の増加や医療の負荷の状況を慎重に見極めながら、レベルの移行や対策の検討を進めていく。 ● なお、国から「医療需要の予測ツール」について、オミクロン株の科学的知見が十分に蓄積されていないことから、当面、参考指標として取り扱う旨の通知があった。道としても同様の対応とする。（以上、総政） ● 医療提供体制については、医療機関の協力をいただき、確保病床数を更に拡大する。また、必要な方を確実に適切に医療に繋げていく体制を整えるため、1月18日から病床フェーズ2に引き上げるよう準備を進めたい。 ● また、訪問診療等の協力医療機関の増加、経口治療薬を取り扱う薬局等の拡大など、医療提供体制の運用に万全を期する。（以上、保福） ● 感染状況等の認識について、有識者等からは概ね妥当であるとの意見をいただいている。その際、「医療従事者等へのワクチン接種を進め、クラスター発生を少なくするようお願い」「今後道内においても爆発的な感染拡大に備える必要がある。自宅療養者が増えることも予想されるため、今まで以上に体調管理体制の充実をお願い」「日常生活の感染防止対策の基本は変わらない。冷静かつ効果的な対応の呼びかけが重要であり、実効性のある行動を促す、また、納得感の高い情報提供をお願い」といったご意見をいただいております。今後の取組の参考としていく。（総政） ● 先日山際大臣からBCPについて発言があった。BCPは、社会経済活動の維持を図る観点からも大変重要な取組であり、各所属からも関係団体や企業等に対して、計画の準備や点検について働きかけをお願いしたい。 ● 道における計画についても、今般の感染者の急増やテレワークなどの取組を踏まえ、改めて点検・確認するとともに、テレワークによる在宅勤務や時差出勤などに取り組んでいきたい。（以上、総務） ● 道内の経済団体や業界団体に対して、テレワークの導入も含めて、BCPの点検・策定などに取り組んでいただくよう働きかける。BCPに関するチェックリストや道のテレワーク支援の資料などを作成しているので、周知を図っていく。（経済）

- 今週から来週にかけて、道内学校の冬休みが順次明け、授業が再開される。一昨日、改めて道の無料検査や風邪症状が見られる場合の対応等を学校へ通知しており、引き続き、学校や家庭と連携を図り、感染防止対策を徹底していきたい。（教育）
- オミクロン株への置き換わりが進んでいる可能性があり、これまで以上に危機感をもって対応していかなければならない状況。市町村等と危機感を共有し、連携して対応に当たってほしい。
- また、感染が道内各地に広がっている状況を踏まえ、道民の皆様に対する感染防止行動の徹底をお願いしたい。
- 国の考え方も踏まえ、今後の医療提供体制への負荷を慎重に見極めていくことが重要。道では、病床使用率20%という指標を置いており、その水準を超えることが確実な状況となった場合は、オミクロン株の特徴を踏まえ、速やかにレベル2へ移行する。その際に、まん延防止等重点措置を含めた対策を迅速に講じることができるよう、必要な検討を進めてほしい。
- 今後の感染拡大により、多くの従業員、職員が出勤できなくなる事態も想定しなければならない。道自ら業務継続計画の再点検を行い、改めて、テレワークの徹底などに取り組んでほしい。また、企業に対しても事業継続に向けた計画の点検や作成を関係団体等と連携して働きかけてほしい。
- 先日、岸田総理から要請があった高齢者接種のペースアップについて、3回目接種が円滑に実施できるよう、しっかりと市町村をサポートしてほしい。

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年1月19日（水） 13時50分～14時40分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p style="text-align: center;">〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本日朝開催された国の基本的対処方針分科会において、13都県にまん延防止等重点措置を適用し、期限を2月13日までとすることが了承された。本日夜に開催される政府対策本部で決定される見込み。 ● 全国的にこれまで経験したことのない速度で新規感染者数が増加しており、道内においても本日一気に急増し、最多を更新するなど、各地で急速に感染が広がっている。病床使用率も、ここ一週間で倍増しており、平均で1日あたり約1%のペースで増加している。現在の増加傾向が続くと、今週末から来週初にかけて、レベル2の指標となる20%を超えることが見込まれる。 ● レベルの考え方では、すべての移行指標が基準を超えた場合にレベル2に移行し、さらに、一定期間、感染の拡大が継続する場合にまん延防止等重点措置の国への要請を検討することとしている。 ● 一方で、変異株の影響により感染拡大が急速に進む場合など、必要に応じ対策を前倒しするとしており、オミクロン株の影響で急速に感染が広がり、医療への負荷も高まってきている状況を踏まえ、レベル移行や必要な対策について検討を加速したい。 ● まん延防止等重点措置の国への要請については、国における検討に時間も要することを踏まえ、その必要性や適用された場合における措置内容についても早急に検討を進めていく。（以上、総政） ● 基本的対処方針によると、まん延防止等重点措置が適用された場合には、飲食店の営業時間短縮や利用人数制限、酒類提供自粛などをお願いしていくこととなる。他県の例も参考としながら、速やかに検討していきたい。（経済） ● レベル2に移行する場合には、学校等においても衛生管理マニュアルのレベルを移行することとし、修学旅行、宿泊学習等では感染リスクの高い活動は実施を慎重に検討し、道外の緊急事態措置区域やまん延防止等重点措置区域は旅行先としないなど対応していきたい。（教育） ○ これまで、「病床使用率20%を超えることが確実となった場合には速やかにレベル2への移行を行う。その際、まん延防止等重点措置を含めた対策を迅速に講じる」という考えを示してきた。道内各地で急速に感染が広がっている状況であり、有識者や市町村等からも意見を聴き、速やかに、レベル2の移行、まん延防止等重点措置の国への要請について判断していく。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">○ 特に、まん延防止等重点措置については、国とも協議を進め、速やかに対応できるようにしてほしい。また、対象区域等についても、感染力が強いと言われるオミクロン株の特徴や全道に感染が拡大している状況を踏まえ、検討を進めてほしい。○ また、基本的対処方針においては、まん延防止等重点措置で非認証店は酒類提供ができないこととなっている。認証店と非認証店で対応に差が生じることもあることから、まだ認証を取得していない飲食店の皆様には取得いただくよう、改めて周知を図ってほしい。● 有識者等への意見照会など、必要な手続を経る必要があるため、対策本部を開催するのは、早くて1月21日金曜日となる。いずれにしても早急に検討を進めていきたい。（総政） |
|--|--|

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年1月20日（木） 10時10分～10時55分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、財政局長、政策局長、政策局次長、交通政策局長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 本日も感染者数が最多を更新し、病床使用率も増加が続いている。国の分科会では、感染者の急増が続いている場合には、社会機能の維持が困難となるおそれも指摘されている。 ● 本日時点では指標は超えていないが、オミクロン株の広がりを踏まえ、本日、レベル2への移行とともに、まん延防止等重点措置の国への要請について、有識者に意見を伺うこととしたい。道としての重点措置の内容の考え方についても併せて意見を伺っていく。 ● 対象区域については、これまでの感染の広がり方と異なり、札幌市やその周辺にとどまらず、全道各地で同時に感染が広がり、全道域で医療への負荷が高まっている。感染が広がっている主要な地域を限定するという考え方もあるが、現在の感染状況等に加え、オミクロン株の感染力の強さも考慮すると、全道域で措置を講じていくこととしたい。 ● 基本的対処方針では、これまでの広範な不要不急の外出自粛はお願いせずに、感染拡大の主な起点となっている場面に効果的な対策を徹底することとされており、道としても基本的対処方針を踏まえて対応していくこととする。（以上、総政） ● 飲食店については、基本的対処方針を踏まえ、他県の措置も参考としつつ、第三者認証店と非認証店の差を設けることとし、認証店は「営業時間21時まで、酒類提供20時まで」、または、「営業時間20時まで、酒類提供は行わない」、のいずれかを選択いただくこととしたい。非認証店は「営業時間20時まで、酒類提供は行わない」ことを要請する。（経済） ● 需要喚起策についても対応が必要となる。どうみん割については全道域で事業を停止することとしたい。利用者のキャンセル料は無料、事業者にはキャンセル分の割引相当額を支払うこととしたい。（観光） ● ぐるっと北海道については、適用日から新規の販売を停止し、販売済のものには利用可能としたい。（交通） ● Go To Eat 食事券については、利用を全道でテイクアウト・デリバリーに限定することとし、食事券の販売は継続することとしたい。（経済） ○ 本道は今重要な局面を迎えている。病床使用率は基準を超えていないが、これまでの増加数などを踏まえると、近々20%を超えることが確実と言える状況。また、このまま新規感染者の急速な増加が続いた場合には、医療提供体制のひっ迫、そして、社会機能の維持にも影響が生じるおそれがある。全道で最大限の危機感を持って対応に当たっていくことが必要。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">○ また、重点措置が決定された場合に速やかに措置を実施できるよう、あらかじめ措置内容等について道民、事業者の皆様にご丁寧に御知らせしてほしい。○ 認証店では、営業時間や酒類提供の有無が選択できるようになるため、まだ認証を取得されていない方には、積極的に情報提供を行い、できるだけ多くの方に検討いただけるよう取り組んでほしい。○ また、どうみん割等の需要喚起策についても、道内の厳しい状況等についてご理解をいただけるよう、丁寧な説明を行ってほしい。 |
|--|---|

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年1月21日（金） 11時40分～12時25分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、経済部長、財政局長、政策局長、 政策局次長、感染症対策局長、経済部次長、誘客担当局長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、まん延防止等重点措置の国への要請等について、本部会議において協議することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規感染者は本日も最多を更新し、病床使用率も数日以内に20%を超える状況。全道域でのレベル2への移行、そして、全道域を対象としたまん延防止等重点措置の国への要請について、有識者等からも概ね妥当であるとの意見をいただいている。 ● その際、「3回目のワクチン接種の早期実現と飲み薬の使用拡大を求める」「これから第三者認証の申請を行う事業者への柔軟で速やかな認証の実施をお願いします」「PCR等検査無料化推進事業において、実施機関の拡充や対象期間の延長など感染状況に応じた柔軟な運用を行っていただきたい」といったご意見をいただいております、今後の取組の参考としていく。（以上、総政） ● 国の専門家から「オミクロン株による急速な感染拡大が生じている地域では、検査や疫学調査の重点化の切り替えを実施すべき」と指摘されている。道内の感染状況に鑑み、陽性者の重症化を未然に防ぎ、必要な方を確実に医療に繋げていくため、迅速な療養先の決定や経口治療薬の円滑な供給など、重症となる方をできる限り防いでいく取組に重点を移し、疫学調査を同居家族や重症化リスクの高い施設に重点化していきたい。 ● その結果、同居家族以外の方などで感染の可能性のある方や職場には患者自身から連絡し、必要なチェックなどを行っていただくこととなる。来週からの本格運用に向けて、必要な調整を進めていきたい。 ● ワクチンの3回目接種については、概ね全国平均と同じペースで進捗している。一時的にワクチンが不足する場合の市町村間の融通を適宜実施するなど、今後本格化する高齢者接種のペースアップに向けて、引き続き市町村を支援していく。（以上、保福） ○ 重点措置が速やかに適用されるよう、本部会議での決定後、速やかに国への要請を行ってほしい。また措置の方針の周知など、必要な準備を進めてほしい。 ○ 有識者等からも早期の対策や周知が求められている。外出や移動、飲食の場面における感染防止行動の徹底については、国による重点措置を待たずに道民の皆様にも協力をお願いしていく。 ○ 多くの職員が昼夜を問わず、疫学調査や健康観察、入院調整などに取り組んでいるが、オミクロン株による感染拡大の速度が極めて速い。こうした中で、今最も重要なのが、治療が必要な方を確実に医療につなげていくことであり、特に、重症化リスクの高い方への対応には万全を期すことが重要。

	<p>○ 今後、道民に皆様には感染の可能性のある方への連絡等について、協力をお願いすることとなる。取扱いの変更に当たり、何が変更となり何が変更されないのか丁寧な説明を行うとともに、混乱が生じないように、対応していくことが重要。市町村等とも連携しながら、ホームページなどわかりやすい発信を行ってほしい。</p>
--	--

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年1月25日(火) 11時25分～12時05分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、「北海道におけるまん延防止等重点措置」について、本部会議において協議することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<p style="text-align: center;">〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今朝開催された国の基本的対処方針分科会において、1月27日から2月20日までの25日間、本道でまん延防止等重点措置を実施することが了承された。今晚開催予定の政府対策本部において正式決定される見込み。 ● 基本的対処方針に大きな変更はなく、前回対策本部で示した考え方に沿って重点措置を決定し、実施していくこととしたい。 ● 有識者等からも概ね妥当というご意見をいただいている。その際、「オミクロン株の特性に応じて、柔軟な対応策をお願いする」「感染対策の基本の一つはワクチン接種であることから、3回目のワクチン接種が可能な限り速やかに進行することを願う」「積極的疫学調査の重点化については、濃厚接触者になった場合に、どう対応すべきかなど、一層の周知徹底に努めていただきたい」といったご意見をいただいております。今後の取組の参考としていく。(以上、総政) ● 基本的対処方針に基づき、事業者の皆様に対しても、事業継続計画の点検、策定など、事業継続に支障が起きないように準備に取り組むことをお願いする。改めて、経済団体や業界団体を通じて周知することとしており、各部・各振興局においても所管の業界や団体等に対して働きかけをお願いしたい。(経済) ● 疫学調査の重点化については、昨日から本格実施を開始した。関係機関や団体等への周知や外部からの照会などに対応できるよう、わかりやすい資料を作成し、関係部局に対応いただいている。(保福) ● 学校で1人でも陽性者が確認された場合には、感染拡大を防止する観点で幅広く学級閉鎖を行うといった取扱いを学校等へ通知するとともに、保護者に対しても周知する。(教育) ○ オミクロン株は重症化リスクが低い可能性も示唆されているが、軽症者の急増後、高齢者に感染し、入院患者も増えることで、医療がひっ迫し、さらに社会機能の維持も困難になってくる懸念も示されている。 ○ 道でもこうした懸念が現実のものとなりつつある。特に、医療提供体制が脆弱な地域もある中、医療提供体制のひっ迫と社会機能の維持への影響を最小限に抑えていかなければならない。 ○ まん延防止等重点措置の下、今一度、北海道が一丸となって、この難局に立ち向かっていかなければならない。道民、事業者の皆様のご理解とご協力をいただきながら進めていけるよう、道庁の総力をあげて取り組んでほしい。 ○ また、オミクロン株による感染拡大のスピードを踏まえると、社会経済活動のあらゆる場面での影響を想定しておく必要がある。こうした事態も想定して、全ての職員が強い危機感を持って対策に取り組んでほしい。

	<p>○ ワクチン接種について、これまで市町村における課題やニーズの把握を行ってきたところであるが、現下の感染状況やまん延防止等重点措置の適用を踏まえると、今後、本格化する高齢者接種のペースアップが重要となる。その観点から、道直営の集団接種会場の設置を検討してほしい。</p>
--	--

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年2月3日（木） 11時50分～12時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について、本部会議において報告することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 本日朝開催された基本的対処方針分科会において、重点措置区域に新たに和歌山県を追加することが了解された。 ● 道内の新規感染者数は、過去最多を更新する見込み。病床使用率も増加がしており、特に札幌市内で医療への負荷が高まるなど、厳しい状況が続いている。 ● 人流は、1月27日のまん延防止等重点措置適用後、減少傾向となっており、昨年8月のまん延防止等重点措置適用時の水準まで下がっている。 ● 感染状況等の認識について、有識者等からは概ね妥当であるとのことをご意見をいただいている。その際、「小中学校で感染が広がっていることから5～11歳以下のワクチン接種の早期実現」や「抗原検査キットの流通・配付、安定供給」などについてご意見をいただいております。今後の取組の参考としていく。 (以上、総政) ● 国の通知により、感染者の療養期間について、無症状の場合は10日間から7日間に短縮可能となった。また、本日示された基本的対処方針にも記載されているが、濃厚接触者の待機期間も7日間に短縮された。 ● さらに、同居家族などの濃厚接触者について、医師の判断により、検査を行わず、臨床症状で患者としてみなすことができるという国の取扱いについて、これまで道医師会との調整を行ってきたが、本日から、その運用を開始することとしたい。 ● 抗原定性検査キットの流通不足について、国の対応の考え方が示されたが、引き続き、知事会と連携し、安定供給を国に求めていきたい。 ● 道直営の集団接種会場について、関係者との調整を含め検討してきたが、2月11日から3月27日までの土日祝日の17日間、厚別区のホテルエミシア札幌に設置することとし、5日から予約受付を開始する。(以上、保福) ● 文部科学省から、オミクロン株の特性を踏まえ、学校の臨時休業等に関するガイドライン運用にあたっての留意事項が示され、学級閉鎖の期間の目安が5～7日程度から5日程度に変更された。道教委としても留意事項に沿った対応を進めていく。 ● 学校における感染者が急増していることから、衛生管理マニュアルに基づき、近距離で一斉に大きな声で話す活動や密集する運動など、感染症対策を講じてもお感染リスクが高い活動を行わないよう、市町村、学校へ周知する。(以上、教育)

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">○ 厳しい状況が続いており、高い警戒感を持って対応していく必要がある。特に、重症となる方をできる限り少なくしていくため、治療を必要とされる方を確実に医療につなげることが重要。症状の重い方、重症化リスクの高い方への対応や、自宅で療養される方の支援に万全を期してほしい。○ みなし陽性の運用や学級閉鎖の期間短縮のほか、療養期間の短縮など、この一週間で制度が大きく変わってきている。市町村や関係機関と取扱いについて共有を図り、適切に対応してほしい。○ 道の集団接種会場の活用も含め、市町村による接種や職域接種の支援など、ワクチンの3回目接種促進に向けて、万全の体制で取り組んでほしい。 |
|--|---|

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年2月10日(木) 10時05分～10時45分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、職員監、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	<p>感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について、本部会議において報告することとした。</p>
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 今朝開催された基本的対処方針分科会において、重点措置区域に新たに高知県が追加されるとともに、東京都はじめ1都12県の延長が了承された。いずれも期間は3月6日までとなる。本日夜開催される政府対策本部で決定される見込み。 ● その他、対処方針においては、今月4日の新型コロナウイルス感染症対策分科会での提言を踏まえ、学校、保育所、高齢者施設、事業者等における感染防止策等が位置付けられた。 ● 道内の新規感染者数は増加速度の鈍化が見られるものの、本日、4千人を超える見込み。病床使用率も増加が続いており、特に札幌市内の病床使用率が大幅に増加している。医療機関等での集団感染が数多く確認されるなど、一般医療への影響も見られ始めている。(以上、総政) ● 国の通知を踏まえ、医療機関への受診に一定の時間を要する状況となっている場合、症状はあるが重症化リスクの低い方については、受診前に検査キットで自ら検査した結果を活用し、迅速に診断できる取組を実施することとする。2月14日から順次開始していきたい。 ● 岸田総理が、ワクチン接種について、2月のできるだけ早い時期に1日100万回までペースアップすることを目指すことを目指すと表明した。道としても明日開設する「北海道ワクチン接種センター」の活用や交互相種への理解促進を図る広報など、3回目接種の加速化に向けて、市町村と連携して取り組んでいきたい。(以上、保福) ● 基本的対処方針の変更を踏まえ、改めて、事業者の皆様に対して、出勤者数削減の目標設定のほか、BCPの点検・策定など事業継続に支障が生じないために必要な取組を行うよう働きかけることとしたい。(経済) ○ 増加速度の鈍化が見られたのは、これまでの道民の皆様のご協力によるものである。一方で、引き続き、厳しい状況が続いており、高い警戒が必要。2月20日までの間、危機感を持って、基本的な感染防止行動を徹底してほしい。特に、明日11日から3連休となる。混雑している場所への外出を控え、重症化リスクの高い方と会う場合には、さらに対策の徹底について、改めて周知を図ってほしい。 ○ 今まさに感染が広がっている学校や保育所、高齢者施設、事業所などに対し、基本的対処方針も踏まえ、市町村、関係団体と連携し、改めて、対策の徹底を図ってほしい。 ○ 道の集団接種会場での接種が明日から開始される。積極的に活用いただけるよう、改めて、周知を図ってほしい。また、引き続き、市町村による接種や職域接種をしっかりと支援し、3回目接種を加速してほしい。

	<p>○ 21日以降の対応については、来週の早い時期に判断が必要となる。しっかりとモニタリングを行いながら、検討を進めてほしい。 (了)</p>
--	--

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年2月15日（火） 10時50分～11時40分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、まん延防止等重点措置の延長の国への要請等について、本部会議において協議することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● まん延防止等重点措置が残り5日となった。新規感染者数は先週との比較で減少が見られるようになったが、1日2千人を超える日が続くなど、依然高い水準で推移している。全道各地で医療機関等での集団感染が確認され、病床使用率や重症病床使用率も増加が続いている。国の専門家からは今後も病床への負荷が高まるとの懸念が示されている。 ● こうした状況を踏まえると、引き続き、感染リスクが高まる場面などにおける感染防止行動を徹底するとともに、学校や保育所、高齢者施設等における対策を徹底することにより、新規感染者数を減少に転じさせ、これ以上の医療の負荷を抑えていくことが必要な状況と考えている。 ● 仮にまん延防止等重点措置を延長する場合、対象区域としては、全道各地で感染が確認されている状況を踏まえて、引き続き、全道域で対策を徹底していくことが必要。具体的な措置については、今後の基本的対処方針の議論を踏まえて検討したい。 ● 道としては、オミクロン株の特性を踏まえ、全体方針の下でまん延防止等重点措置についても検討いただく必要があると考えている。2月4日に開催された国の新型コロナウイルス感染症対策分科会の提言においても、国に対し、オミクロン株への対応に関する様々な課題など、全般的な対応方針の速やかな検討が求められている。改めて、国に対し、求めていきたい。（以上、総政） ○ まん延防止等重点措置に対する皆さんのご協力により、これまで急速な増加が続いていた状況と比べると、増加の速度が鈍化、減少が見られはじめた。しかしながら、依然として高い水準であり、医療の負荷は新規感染者が減少した後も増加していくことを踏まえると、新規感染者数を減少に転じさせ、これ以上の医療の負荷を抑えていくことが重要。 ○ 大変苦しい判断となるが、私としてもまん延防止等重点措置の延長が必要と考える。有識者等の意見を聞いた上で、本日の本部会議において、決定したい。国の検討状況を注視しながら、措置内容について速やかに検討してほしい。 ○ また、2月20日までの重点措置についても改めて徹底してほしい。感染リスクが高まる場面などにおける感染防止行動の徹底を働きかけるとともに、治療が必要な方を確実に医療機関につなげられるよう、重症化リスクの高い方への重点的な取組を進めるようお願いする。 ○ 県によっては、解除に向けた議論が行われている。今後の全国的なピークアウトも見据え、国として解除の考え方を示していただくことが必要と考え

る。国と地方が連携して取り組み、同じ目線で発信していくためにも、国に対して早急な検討などを求めている。

- 3回目接種に向けて、各市町村において、接種券の早期発行など協力をいただいたこともあり、道の集団接種会場においても2月23日までの予約枠が全て埋まったところ。2月26日以降の予約枠について、前倒しで2月17日から予約を開始することとしたい。
- 小児のワクチン接種について、10日に開催された国の審議会において、予防接種法に基づく特例臨時接種に位置付けることが了承された。今後、2月下旬以降の接種開始に向けて関係法令等が改正される見込み。なお、接種勧奨の規定は適用するものの、努力義務の規定は適用しないとされた。
- 道としても、国の責任において国民的な理解の促進に努めるよう要望していくとともに、市町村とも連携し、丁寧な情報発信に努めていきたい。（以上、保福）
- 道の接種会場については、引き続き、積極的な活用に向けた周知を行うとともに、希望される方への3回目のワクチン接種の促進に向けて、市町村と連携し、しっかり取り組んでほしい。
- 小児への接種については、一般の方にはわかりにくい取扱いとなった。保護者をはじめとする住民の皆様への説明が必要であり、国として明確な説明と積極的な情報発信を行うよう求めていく必要がある。本日の知事会場の場なども活用したい。

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年2月18日（金） 10時00分～10時45分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 今朝開催された国の基本的対処方針分科会において、2月21日から3月6日までの14日間、本道のまん延防止等重点措置を延長することが了承された。今晚開催予定の政府対策本部において正式決定される見込み。 ● 今回、沖縄県など5県について、各県の要請を踏まえ、解除されることとなった。 ● 分科会において、今回の解除にあたっての考え方が示された。新規感染者数が継続して減少しているか、低位の水準にあること、病床使用率が概ね50%を下回り、下降傾向にあることなどが示されている。 ● しかしながら、今後の解除については、人口規模などを踏まえ、総合的に判断するとされており、今後に向けて具体的な考え方を示していただくよう、知事会とも連携しながら、国に求めていきたい。 ● また、基本的対処方針には、入国者総数の5,000人への引き上げや、高齢者施設入所者及び従事者へのワクチンの早期接種、また、これまでの国通知の内容を踏まえた疫学調査の対応といった記述が追加される見込み。 ● 今回の延長に際しては、基本的対処方針の変更を踏まえつつ、改めて感染力の強いオミクロン株に対する警戒感を高めることとし、オミクロン株の特徴に関する知見について共有を図るほか、事業者に対し、改めて、出勤者数の削減目標を定め、在宅勤務等を推進することについて協力を求めるとともに、感染が広がっている保育施設や高齢者施設に対する対策の徹底や、学校に対し、他校との練習試合や合宿等は行わないことなどを求めていくこととしたい。（以上、総政） ● 事業者の方々にも事業継続に向けた取組をお願いしていることも踏まえ、道庁としても、各所属において業務の継続が図られるよう、出勤者数の抑制に取り組むとともに、感染リスクの低減に向けた取組を強化するよう、改めて徹底したい。（総務） ○ 新規感染者数は減少が続いているが、病床使用率は増加が続いている。新規感染者数を着実に減少させ、これ以上の医療への負荷を抑えていくことができるか重要な局面を迎えている。 ○ ここで改めて、オミクロン株について正しく認識し、必要な感染防止行動を徹底いただくことが重要となる。 ○ 2週間という短期集中の対策となるが、今一度、感染リスクの高まる場面における感染防止行動の徹底を図りながら、感染が広がっている学校や高齢者施設等における対策の徹底を図ってほしい。感染者が多くなり、濃厚接触者が増加する中、業務継続の視点での取組も重要となる。道庁としてもしっかり取り組みながら、事業者にも協力を求めてほしい。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">○ 水際対策が3月1日から段階的に緩和される。技能実習生の受入に向けた地域の声をしっかり聞き、必要な支援を行うなど、国の検討状況を注視しながら、必要な準備を行ってほしい。○ 基本的対処方針においても、高齢者施設でのワクチン接種の促進が盛り込まれた。集団感染が数多く確認されていることを踏まえ、希望される方への接種をできるだけ早く完了し得るよう、市町村を支援してほしい。○ 本道は厳しい状況にあるが、感染者数が急速に増加する局面を脱しつつある。改めて、市町村、関係団体と連携して、対策の必要性や内容について、丁寧に発信し、まん延防止等重点措置の下、総力を挙げて取り組んでほしい。 |
|--|--|

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年2月24日（木） 16時30分～17時00分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について、本部会議において報告することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 1週間合計の新規感染者数は2月11日をピークに減少に転じた可能性があるが、全ての振興局管内で感染が確認され、1日2千人を超える日も続いている。また、療養者数も2月11日以降減少している。病床使用率は増減し、高止まりの状況となっている。 ● 2月15日に国が示したまん延防止等重点措置の終了の考え方に当てはめると、現時点では、新規感染者数が低位の水準にあるとは言えず、病床使用率も下降傾向にはなっていない。（以上、総政） ● ワクチンの3回目接種について、2月の大雪の影響により、道内の接種率が全国と比べて低くなっている。市町村では、接種券の早期発行や予約不要の接種、接種券無しでの接種などに取り組んでいただいております。道としても市町村と連携し、積極的な情報発信に取り組んでいく。 ● 小児ワクチン接種については、2月21日に関係法令等が改正され、接種が可能となった。公的な関与のあり方としては、予防接種法上の接種勧奨の規定は適用するものの、努力義務の規定は適用しないとされた。また、対象となる小児のうち、重症化リスクの高い基礎疾患を有する方は特に接種が推奨されている。 ● 引き続き、ワクチン接種の有効性や副反応などについて、国民的理解の促進に努めるよう国に要望していくとともに、市町村と連携し丁寧に情報発信していく。（以上、保福） ● 現在停止しているどうみん割の事業期間が3月10日までとなっている。重点措置終了如何に関わらず、期間の延長などについて、国に要望することとしたい。（観光） ○ 新規感染者数をより一層減少させ、医療の負担を抑えていくことが重要。予断を許さない状況が続いていることを踏まえ、高い警戒感を維持しながら、市町村、関係団体と連携し、措置の徹底を図ってほしい。 ○ 来週、まん延防止等重点措置の取扱いを判断する必要がある。今後の感染状況、医療への負担を慎重にモニタリングし、3月7日以降の対応について、必要な検討を進めてほしい。 ○ ワクチンについて、高齢者等の追加接種の加速化に向けて、道の集団接種会場の活用を含め、引き続き市町村を支援してほしい。 ○ 小児接種については、自治体が接種勧奨をするものの、接種対象者に努力義務はないというわかりにくい取扱いとなっている。国に対して、引き続き、接種の明確な方針を示し、わかりやすく情報発信することを求めるとともに、道としても、市町村と連携し、接種対象者や保護者の方へより丁寧な対応を行ってほしい。（了）

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年2月28日（月） 16時30分～17時00分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内では、急拡大してきた新規感染者数は減少が続いているものの、引き続き、全ての振興局管内で感染者が確認されているほか、医療機関等での集団感染も継続している。 ● 病床使用率は各圏域で差が生じているものの増減し、高止まりの状況が続いている。特に、道央、十勝圏で全道を上回り、その他の地域では増減しながら横ばいとなっている。 ● 国のまん延防止等重点措置の解除の考え方に照らすと、現在の道内の状況は重点措置の解除の要件には当たらないこととなる。（以上、総政） ○ 道民の皆様、事業者の方々のご理解とご協力により、新規感染者数はピークを越え、減少傾向が続いている。 ○ 一方で、病床使用率は減少傾向が見られず、医療機関等の集団感染も続いている。 ○ また、感染力の強いB A. 2にも警戒が必要な状況であり、非常に難しい局面を迎えている。 ○ 重点措置の延長については、ぎりぎりまで状況を見極めたい。その上で地域ごとの感染状況や医療への負荷の状況なども踏まえ、明日判断する。 ○ これまで全道域を対象区域として重点措置を適用してきたが、地域を限定した重点措置の可能性も含めて、検討してほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年3月1日（火） 15時55分～16時35分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、教育部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p style="text-align: center;">〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 病床使用率が高止まりとなっているが、医療圏ごとの病床使用率の推移等を見ても、明確に減少傾向等となっている地域は一部であり、また、感染状況についても、都市部を中心に厳しい状況が続いている。地域の数値は大きく変動することが多く、増減しながら推移していることにも注意が必要な状況。 ● また、B A. 2系統が、札幌市内で初めて確認された。専門家からはB A. 2系統への置き換えにより、新規感染者数が再度増加に転じる懸念が示されるなど、道内の感染状況や医療への負荷は予断を許さない状況。 ● こうした状況を踏まえると、引き続き、全道域を対象にまん延防止等重点措置が必要であり、その延長を国に要請することとしたい。 ● まん延防止等重点措置が延長となる場合、具体的な措置については、国の基本的対処方針の修正内容を確認した上で検討したい。（以上、総政） ○ 重点措置の終了に期待している方も多一中、大変苦しい判断となるが、現在の感染状況、病床使用率、さらにB A. 2系統の感染事例の確認といった状況を踏まえると、重点措置を終了できる状況とは言えない。 ○ 国への延長の要請決定後、速やかに要請できるよう準備を進めるとともに、延長後の措置内容についても、国の動向を注視しながら、検討を進めてほしい。 ○ 予断を許さない状況が続いており、新規感染者をさらに減少させ、医療の負荷を着実に抑えていく重要な局面であることについて、丁寧に説明を尽くしてほしい。 ○ この2週間は、感染防止対策と社会経済活動の回復との両立に向けて重要な期間となる。道としても、ワクチンの追加接種の加速、医療提供体制のさらなる充実、新たな行動制限の緩和に向けた取組を徹底的に進めてほしい。 ○ 特に、ワクチンについては、個人の重症化予防、発症予防に加えて、周囲の方々への感染を防ぐ効果が期待できる。接種の一層の加速化に向けて、特に、接種率が低い市町村と連携しながら取り組んでほしい。 ○ 国の議論を踏まえると、今後、第三者認証による制限のさらなる緩和が行われる可能性もある。そうした議論を踏まえ、改めて第三者認証の取得促進にも取り組んでほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年3月3日（木） 19時15分～19時45分
場 所	議会知事室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、教育部長、 政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、「北海道におけるまん延防止等重点措置」の改定等 について、本部会議において協議することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 先ほど総理会見において、北海道を含む18都道府県のまん延防止等重点措置を3月21日まで約2週間延長することとし、明日、基本的対処方針分科会を経て、正式に決定することが表明された。 ● 道としても、有識者等のご意見をお伺いした上で、明日の本部会議において、重点措置を決定し、実施していくこととしたい。 ● 道の措置内容としては、引き続き、全道域を対象に、感染リスクが高まる場面や感染が広がっている場所における感染防止行動の徹底を基本とし、明日示される基本的対処方針の内容を確認した上で、決定したい。 ● また、今回解除される県の中には、病床使用率が50%を超えるなど、国が示した解除の考え方と合わない事例が見られる。知事会とも連携しながら、オミクロン株の特徴に応じたより明確な解除基準を示すよう求めていきたい。（以上、総政） ○ 引き続き、予断を許さない状況が続いている。新規感染者数をさらに減少させ、医療への負荷を着実に抑えていくため、極めて重要な2週間となる。 ○ 市町村、関係団体としっかり連携しながら、感染防止対策の徹底はもとより、ワクチン、医療提供体制、無料検査、第三者認証の分野でしっかりと取組を進めてほしい。 ○ また、人の移動や会食機会が増え、感染リスクの高まる年度末、年度始めの時期を迎える。年度末を見据えて早めの準備を進め、効果的な注意喚起を行ってほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年3月10日（木） 17時10分～17時40分
場 所	議会知事室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、保福部長、コロナ監、経済部長、学校教育監、政策局長、政策局次長、交通政策局長、感染症対策局長、経済部次長、誘客担当局長ほか
内 容	<p>感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について、本部会議において報告することとした。</p>
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の新規感染者数は、各地で感染事例が確認されているものの、減少傾向が継続し、療養者数も同様に減少傾向が継続している。 ● 病床使用率も減少に転じ始めた。札幌市以外の地域の減少が見られるが、札幌市では高止まりが続き、全体を押し上げている状況。 ● 医療機関等では、全道で集団感染事例の確認が続いているが、件数は減少している。 ● 明日、国の新型コロナウイルス感染症対策分科会が開催される見通し。これまでの感染状況を踏まえ、第6波の今後の対応やイベント開催の制限緩和、ワクチン・検査制度などについて議論が行われる見込みであり、こうした国の議論も注視していきたい。 ● 年度末、年度始めは、就職や卒業、進学などに伴う人の移動や会食機会の増加など、感染リスクが高まる時期となることから、様々な機会を活用した普及啓発や感染の広がっている場所における対策の働きかけ、道庁における異動の際の対策など、集中的な取組を進めていきたい。（以上、総政） ● どうみん割については、国の要綱改正により、3月末まで実施が可能となった。4月以降についてはGOTOトラベル事業の再開も見込まれるが、まだ、詳細が公表されていない状況。（観光） ○ 医療機能が集積する札幌市内の病床使用率が高止まりとなるなど、引き続き、警戒が必要な状況。 ○ まん延防止等重点措置の下、対策の徹底を図りながら、3月22日以降の対応について、今後の感染状況、医療の負荷を慎重にモニタリングし、必要な検討を進めてほしい。感染状況等の分析を基に、来週、重点措置の取扱いを判断したい。 ○ 国の分科会では、飲食店やイベントなどにおける今後の対策の考え方など重要な議論が行われる。国の今後の検討状況を注視し、しっかり情報収集してほしい。 ○ 医療の負荷を抑えていくためにも、高齢者の方へのワクチンの3回目接種を加速していくことが極めて重要。市町村へのきめ細かな支援とともに、道の「ワクチン接種センター」の4月以降の運営についても検討してほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年3月14日（月） 16時30分～17時20分
場 所	議会知事室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、学校教育監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	<p>感染状況などを踏まえ、まん延防止等重点措置の延長を要請しないこと等について、本部会議において協議することとした。</p>
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の新規感染者数は、10万人当たり214.8人となり、ピーク時の467.8人から半分以下となっている。 ● 病床使用率も27.2%となり、ピーク時の40.1%から大きく減少しており、札幌市を含め地域の病床使用率も減少している。 ● ワクチン接種についても、65歳以上の高齢者の6割、100万人を超える方が3回目の追加接種を終え、今後さらに進む見込み。 ● また、3月11日に開催された国の新型コロナウイルス感染症対策分科会において、まん延防止等重点措置終了の考え方が改めて示された。 ● 新規感染者数や医療への負荷は、道内一様ではないものの、今後ワクチンの追加接種が進む中、全道、札幌市、そして札幌市以外の地域においてピーク時から大きく減少していることから、国の重点措置の終了の考え方を踏まえ、さらなる延長を要請しないこととしたい。 ● 一方で、今後、就職や卒業、進学等に伴う人の移動や会食機会の増加など、感染リスクの高まる時期を迎えることから、年度末から年度始めにかけての感染の再拡大を防止することが重要。 ● このため、重点措置が終了する場合においても、B.A. 2系統を含めたオミクロン株の感染力の強さを念頭に置きながら、飲食など感染リスクの高まる場面や、高齢者施設や学校など感染が広がっている場所における感染防止対策の徹底を図っていききたい。 ● 主な対策の考え方としては、飲食の場面では、会話の際はマスクを着用し、特に大人数や普段合わない方との飲食の際は一層徹底すること、事業者においても入社、人事異動、転勤などによる人の入れ替わりを踏まえ、感染防止を徹底することなどを要請したい。 ● また、感染が広がっている保育所や高齢者施設等では、職員の健康管理などを含めた、基本的対策の徹底などをお願いしたい。（以上、総政） ● 飲食店等については、他県と比較して病床使用率が低い水準に抑えられていることなどを踏まえ、営業時間の短縮や4人以内など人数制限の要請は行わないこととし、感染防止対策チェックリスト項目の遵守や特に会話の際のマスク着用徹底の呼びかけをお願いすることとしたい。（経済） ● 対策の詳細については、国の基本的対処方針の見直しを踏まえて、改めて検討することとし、対策の考え方について、有識者等のご意見を伺った上で、明日の本部会議で報告することとしたい。（総政） <p>○ 国の考え方や道内の状況を踏まえ、重点措置の延長を要請しないが、依然、1日千人を超える新規感染者が確認され、高齢者施設等における集団感染も継続して確認されている。</p>

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">○ これまでも、年度末・年度始めなど、人の活動が活発となることをきっかけに感染が拡大してきた経験がある。感染の再拡大を防いでいくことが必要。ここで気を緩めることなく、対策にしっかりと取り組んでほしい。○ 特に、これから歓送迎会シーズンを迎えるが、飲食の場面はどうしても感染リスクが高まることから、警戒が必要。会話の時のマスク着用など、しっかりと呼びかけてほしい。○ 重点措置が終了すると、どうしても安心してガードが下がってしまうが、感染防止対策を徹底しながら、社会経済活動の回復の両立に向けて取り組んでいくことも重要。どうみん割やぐるっと北海道、Go To Eat といった需要喚起策についても、それぞれの感染防止対策を徹底することを前提として、速やかに再開ができるよう検討してほしい。 |
|--|---|

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年3月17日(木) 12時00分～12時45分
場 所	議会知事室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 総務部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、教育部長、 政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、「年度末、年度始めにおける再拡大防止対策」等について、本部会議において協議することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在開催されている基本的対処方針分科会において、北海道を含む18都道府県におけるまん延防止等重点措置が3月21日をもって終了することが了承され、本日夜開催される政府対策本部で決定される見通し。 ● 基本的対処方針の見直し内容は、イベント開催制限の緩和、これまでの国通知の反映などが中心となっている。 ● 今後、年度末から年度始めにかけて、就職や卒業、進学等に伴う人の移動や会食機会の増加など、感染リスクが高まる時期を迎えることから、感染力の強いオミクロン株の特徴を念頭におき、年度末の2週間、年度始めの2週間、合計約1か月間を再拡大防止対策の期間として、感染防止行動の徹底を図りたい。 ● 具体的には、対策本部で示した考え方を基本に、春休みの旅行など他都府県への移動の際には対策を徹底することや、感染が広がっている保育所や高齢者施設等において希望する職員のワクチン3回目接種が進むよう配慮することなどをお願いしたい。(以上、総政) ● 学校においても、卒業式や入学式などの行事をはじめ、学校教育活動等における感染防止対策を徹底するほか、春休みを活用して、希望する教職員のワクチン3回目接種が進むよう配慮することを要請したい。(教育) ● 道直営の集団接種会場について、3月末までとなっているが、4月以降もホテルエミシア札幌において運営を継続する。4月1日から予約を開始し、4月9日から5月29日までの期間、設置する。(保福) ● どうみん割についても感染防止対策を徹底することを前提として再開していきたい。3月22日から予約販売を再開し、4月29日チェックアウトまで利用可能とする。また、4月1日からはワーケーションも補助対象となる。地域ブロックの拡大については、国で検討中であり、詳細がわかり次第、関係各県と調整に入りたい。(観光) ● ぐるっと北海道については、3月22日から、各事業者の準備が整い次第、順次、割引乗車券等を販売再開する。(交通) ● Go To Eat 事業については、食事券の店内利用を3月22日から再開する。食事券の販売期限は4月10日、利用期限は5月10日までとなる。(経済) ○ 新規感染者数や病床使用率はピーク時から大きく減少している。これまでの道民の皆様、事業者の方々、医療従事者の皆様などのご理解、ご協力の賜物である。

	<p>○ しかし、重点措置の終了によって感染症との闘いが終わるわけではなく、今後の再拡大を抑えていくことが大変重要。市町村、関係団体の皆様のご協力をいただきながら、人の入れ替わり、人の集まる行事、大人数の飲食といったリスクの高まる場面に着目して注意喚起を行うなど、効果的な取組を進めてほしい。</p> <p>○ 感染防止対策と社会経済活動の回復との両立に向けた需要喚起策の再開についても、感染対策の徹底、事業者、利用者への周知など、迅速に取り組んでほしい。</p> <p>○ 昨日、岸田総理の会見において、濃厚接触者の範囲の重点化と待機期間の短縮について言及があった。保健所設置市等と調整の上、適切に対応してほしい。</p> <p style="text-align: right;">(了)</p>
--	--

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年3月23日(水) 17時05分～17時35分
場 所	議会知事室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 総務部長、総政部長、保福部長、コロナ監、観光監、教育部長、 政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について、本部会議において報告することとした。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の新規感染者数は、一部地域で増加が見られるものの、減少傾向が継続している。年代別では30代以下が全体の7割以上を占めている状況。病床使用率についても全ての地域で減少傾向が継続している。 ● 若年層を中心に感染確認が続く中、春休みや進学、就職等に伴う人の移動や会食機会の増加など、感染リスクの高まる時期を迎え、改めて、感染リスクの高まる場面や感染が広がっている場所における感染防止行動の徹底を図っていくこととしたい。(以上、総政) ● 国の通知を踏まえ、これまで保健所設置市と調整してきたが、明日から、事業所内で感染者が発生した場合、感染者と接触があったことのみを理由として出勤を含む外出を制限する必要は無いことなど取扱いを変更したい。 ● 取扱いの変更点を整理した資料に加え、基本的な感染防止対策などをわかりやすくまとめた資料を関係団体や市町村等のご協力をいただきながら、周知を図っていききたい。(以上、保福) ● 道内の学校では明後日から概ね春休みに入る。春休み中の感染症対策に関する指導の徹底や新学期に向けた感染症対策の校内体制の再点検等について、周知を行ったところ。 ● また、幅広に学級閉鎖を行うことを基本としていたが、文部科学省のガイドライン等を踏まえ、感染の可能性のある児童生徒のリストアップが可能な場合は、その児童生徒を自宅待機とするなど、感染対策と学びの継続に向けて、より丁寧できめ細やかに対応していく。(以上、教育) ○ 年度替わりのこの時期は強い警戒が必要。歓送迎会などでの飲食、入学式など人の集まる行事、人事異動などによる人の入れ替わりなど、感染リスクの高まる場面における基本的な感染防止行動の徹底について、改めて注意喚起を行ってほしい。 ○ 濃厚接触者の特定の方法などについて、保健所設置市や関係団体と連携して、道民の皆様や事業者の方々に、丁寧に周知を図ってほしい。 ○ ワクチン接種の加速も重要である。7割を超える高齢者の方が3回目の接種を終えたところであるが、道の「ワクチン接種センター」の活用も図りながら、さらに幅広い世代での接種の促進に向けて、引き続き、取り組んでほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年3月29日(火) 16時15分～16時45分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、保福部長、コロナ監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 減少傾向が続いていた道内の新規感染者数は、横ばいでの推移してきたものの、先週との比較では増加となっている。年代別では、引き続き、30代以下が全体の7割以上を占め、若年層が感染確認の中心となっている状況。 ● 療養者数も横ばいでの推移となっているが、病床使用率については減少傾向が継続している。 ● こうした状況の中、進学や就職、人事異動など、年度変わりの時期は、若年層を中心に、普段合わない方と接する機会が増えるため、引き続き、マスクの着用や健康管理など、感染リスクが高まる場面や感染が広がっている場所における感染防止行動の徹底を図っていききたい。(以上、総政) ● ワクチンの4回目接種の実施について、接種対象者や接種間隔も含め、引き続き国の審議会等で議論されることとなったが、今後、3回目接種を受けた全ての方を対象に実施することも想定し、今後、2か月程度を目途に接種券の発送準備を完了するよう国から要請があった。引き続き、国からの情報収集や市町村への情報提供に取り組む。(保福) ○ これまでの感染局面においては、若年層における感染の広がりが高齢者にも伝播し、医療の負荷が高まってきた経過がある。 ○ 引き続き、感染の再拡大への警戒感を維持していく必要があり、感染力の強いオミクロン株を念頭に、改めて、道民の皆様に基本的な感染行動を徹底していただくようお願いしてほしい。 ○ また、歓送迎会など飲食の機会も増える時期であり、第三者認証店を選び、会話の時のマスク着用を徹底するなど、飲食の場面から感染が広がることをできるだけ抑えてほしい。 ○ 庁内においても、感染防止行動の徹底はもとより、人事異動に伴う対策の空白をなくし、万全の体制で新年度を迎えることができるよう、しっかりと準備してほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年4月6日（水） 13時00分～13時45分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、保福部長、経済部長、コロナ監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長他
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 減少傾向が続いてきた療養者数は、先週来7日連続で増加、減少傾向が続いてきた病床使用率もここ数日増加している状況。年代別では、30代以下が約7割と、引き続き若年層が感染確認の中心となっている（総政）。 ● 札幌市の病床使用率は増加しているが、これは現在、病床に一定程度余裕があり、いままで施設内で対応していたクラスターの患者を医療機関に受け入れたことによるもの。 ● 病床使用率の状況を踏まえた今後の対応について、札幌市の考え方を示すよう市に依頼する。 ● BA.2系統のゲノム解析は、道衛研、市衛研でそれぞれ実施。道立保健所において、これまで23件を検出。 ● 3回目接種については、高齢者の接種率が8割を超えた。北海道ワクチン接種センターでの接種も3月までで2,645人となった。道のセンターは4月9日から再開することから、職域追加接種への支援も行うなど、幅広い世代での3回目接種の加速化を図っていくこととしたい（以上、保福）。 ● 年度始めの時期となり、進学や就職、人事異動により、普段会わない方と接する機会が多くなることから、基本的な感染防止行動の徹底を図ることとしたい。 ● 道内の感染状況等について、有識者・専門家の方々からは概ね妥当であるとのこと意見をいただいている。「若い世代を中心に感染状況は、少し悪化している」「新規感染者数の増加傾向は明白であり、再拡大対策の周知徹底が必要」「新学期を迎え、学校内での感染予防策が鍵となる」といったご意見があり、今後の対策の参考とする（以上、総政）。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 20～30代の新規感染者の割合が増加してきている現状を踏まえると、若年層での感染の広がりや高齢者等への伝播に高い警戒感を持って対応していく必要がある。 ○ 札幌市の病床使用率についても、医療への負荷を慎重に見極めながら、対応していく必要がある。市の考えを確認してほしい。 ○ 東京や大阪では、BA.2系統への置き換わりが進んでいる状況にある。今後、道内での置き換わりが進むことも懸念されることから、しっかりと状況の把握を行ってほしい。 ○ 年度始めは、歓迎会など飲食の機会が増える時期であり、第三者認証店を選び、会話時のマスク着用の徹底など、基本的な感染防止行動を徹底し、飲食の場面から感染が広がることのないようにしてほしい。 ○ 新たにワクチン接種の対象となった12歳以上17歳以下の方も含め、幅広い世代での接種促進に向け、市町村をサポートしてほしい。 ○ 4回目接種についての国の審議会での議論について情報収集を行い、市町村にも提供するよう取り組んでほしい。 (了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年4月14日（木） 15時00分～15時45分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、保福部長、経済部長、コロナ監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長他
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 3月下旬以降、療養者数は増加傾向であり、ここ数日は増減しながら増加、病床使用率については、横ばいの状況。 ● 新規感染者数は増加傾向。30代以下が約7割、引き続き若年層が感染確認の中心となっている。 ● BA.2系統については、これまでに85件を検出し、道立保健所管内分の検出率は22%。 ● 4月17日までを期限として「年度末、年度始めにおける再拡大防止対策」を実施しているが、18日以降については、これまで有識者から、わかりやすいメッセージの発信を求められていることもあり、期限を定めた「対策」としては終了し、発信の手法を変更したいと考えている。なお、新規感染者が増加するなど、厳しい感染状況等に鑑み、道民の方々への要請自体は継続することとし、オミクロン株の特徴を踏まえて、基本的な感染防止行動に重点化した呼びかけを行いたい。 ● こうしたことを踏まえ、「普段から」「飲食では」「感染に不安を感じる時」の3つの場面において、道民の皆様をお願いしたい行動をわかりやすく取りまとめ、協力をお願いしていくこととしたい。 ● 4月8日に国の新型コロナウイルス感染症対策分科会が開催され、今後の感染拡大時の考え方について、近く提言がまとめられることとなった（以上、総政）。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後はBA.2系統への置き換わりなどが懸念される中、今まで以上に道民の皆様のご理解とご協力が必要となる。一人ひとりが実践できるよう、よりわかりやすくお伝えしていくという考えの下、取り組んでほしい。 ○ 国の新型コロナウイルス感染症対策分科会の議論は道にとっても大切なものであり、情報収集に努めてほしい。 ○ 今月下旬にはGWが始まる。人の移動や会食機会がより一層活発な時期となるため、道としての対応について検討を進めてほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年4月15日（金） 13時15分～13時50分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、保福部長、経済部長、コロナ監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長他
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 「春の感染拡大防止に向けた道民の皆様へのお願い」について、有識者及び専門家の方々からは、概ね妥当であるという意見をいただいている。 「特に若い世代のワクチン接種の加速をお願いする」、「感染防止対策を進めつつ、社会経済活動をどう回復させていくかということが重要」、「無料検査の期間の延長等、感染状況に応じた柔軟な運用を行ってほしい」、「基本的な感染対策を強いメッセージで発信してほしい」といったご意見をいただいております、今後の対策の参考とする（総政）。 ● ワクチンの3回目接種については、全世代では全国平均とほぼ同じペースで進んでいるものの64歳以下の接種率は、2回目の接種時期の関係もあり全国平均を下回っていることから、新たに接種の対象となった12歳以上17歳以下の方も含めて若年層への働きかけを行っていききたい。 ● また、ワクチン接種センターで、大学等を対象とした団体接種を23日始めることとし、18日から予約受付を開始する。3回目接種を加速化していききたい。 ● 無料検査に関して、感染拡大傾向時の一般検査事業については、レベル2相当以上の感染状況が継続しているため、5月末まで期間延長したい（以上、保福）。 ○ 「3つの行動」のお願いがしっかり届くよう各本部員、地方本部員は、周知や普及啓発はもとより、地域の感染状況に応じた体制の確保などの対応をしっかりと行ってほしい。 ○ ワクチンの3回目接種については、若い世代の接種を加速していく必要がある。大学等を対象にした団体接種について、丁寧な相談対応や積極的な情報発信に取り組んでほしい。また、市町村をしっかりとサポートするとともに、企業に対して、従業員の方々がワクチンを接種しやすい環境をつくってもらえるよう働きかけを行ってほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年4月21日（木） 15時30分～16時15分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、保福部長、経済部長、コロナ監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長他
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 国立感染症研究所によると、4月10日時点の北海道のBA.2系統の割合は57%と推定されている。 ● 感染性がより高いとされるBA.2系統については、道内では157件が検出され、道立保健所管内の検出率は47.6%であり、国の推定や道内の状況を踏まえるとBA.2系統への置き換わりが進んでいると考えられる（以上、保福）。 ● 今後の感染の急拡大を防ぐため、引き続き「普段から」「飲食の場面」「感染に不安を感じる時」における3つの行動について呼びかけていきたい。また、GWを控えて、基本的な感染防止行動の徹底とともに、あらかじめの準備が必要な帰省や旅行などの移動に際し、出発前に無料検査を活用するよう呼びかけたい（総政）。 ● ワクチン接種について、特に若年層への積極的な呼びかけを行い、ワクチン接種センターにおける大学等を対象とする団体接種を推進するなど、3回目接種の加速化を図るとともに、市町村も支援していきたい。 ● 加えて、GWは、接種後の体調管理がしやすい時期なので、3回目接種に向けて、予約をしていただくよう呼びかけていきたい。 ● 4月19日、新たにノババックス社製ワクチンが薬事承認された。道内における接種体制の検討を進めたい。 ● 今後も新規感染者数が高いレベルで推移していくことが予想されることなどから、国からの通知も踏まえ、感染再拡大に備え、保健・医療提供体制の点検を実施した。国からは、3つの内容について報告が求められており、診療・検査医療機関の指定数や自宅療養者に対してオンライン診療等を行う医療機関数、陽性患者受入医療機関・病床数の増加数などについて、回答する。 ● また、国からは、GW期間中、主要な駅や空港での臨時的無料検査所を設置するよう都道府県に呼びかけている。道内では既に札幌駅や新千歳空港などに開設されているが、予約が必要な検査所が多いことから、道民の方々に、早めの予約等を呼びかけていくこととしたい（以上、保福）。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「3つの行動」について、道民の皆さんのご理解とご協力の下で、基本的な感染防止対策の徹底などの行動を実践していただけるよう、積極的に情報発信をしてほしい。 ○ 保健医療提供体制の点検を通じ、今回整備した体制により、感染状況に的確に対応してほしい。 ○ 無料検査の利用や3回目のワクチン接種など、GWを控えての道民の方々や来道を予定しているの方々への呼びかけについて、積極的に行ってほしい。 ○ ノババックス社製ワクチンは、これまで接種できなかった方に接種の可能性が広がる。しっかりと接種体制の検討をしてほしい。（了）

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年4月22日（金） 11時00分～11時45分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、保福部長、経済部長、コロナ監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長他
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規感染者数は、3月下旬以降増加傾向が続いており、特に、十勝圏では、子どもの感染が増えている状況。 ● GWを控えて、基本的な感染防止活動の徹底や期間中のワクチンの3回目接種の呼びかけについて、有識者及び専門家の方々からは、概ね妥当であるという意見をいただいている。「若年層へのワクチン接種の推進と感染対策の道民への周知をお願いする」、「指標の推移を見ながら、医療体制の確保のために適切な対応をお願いする」といったご意見をいただいております、今後の対策の参考とする。（以上、総政） ● GW中は、休診となる医療機関や検査登録事業所が多くなることから、関係団体との連携し、体制の確保に向けて働きかけたい。 ● 昨日、道内の3回目接種率が50%を超えた。引き続き、若年層をはじめ、接種の促進に取り組む（以上、保福）。 ● どうみん割の対象期間について、現在は4月28日の利用分までとなっているが、引き続き、感染対策を徹底した上で、GW後の5月9日から5月31日の利用分まで、対象期間を延長したい。有識者からも異論がない旨の意見をいただいている（経済）。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 新規感染者数が過去最多となっている圏域もあり、医療への負荷につながっていくことが懸念される状況であり、振興局にあっては、GWの人の動きの活発化に向け、市町村長と認識の共有を図り、住民や事業者に取り組んでもらえるよう取り組んでほしい。 ○ 国の動向や全国的な状況も踏まえながら、GWの対応について、さらに検討を進めてほしい。 ○ どうみん割については、感染対策を徹底した上で利用していただくよう、利用者と事業者の双方に周知するよう取り組んでほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年4月27日（水） 10時30分～11時20分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、保福部長、経済部長、コロナ監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長他
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規感染者数は、3月下旬以降、増加傾向が続いている。年代別では30代以下が7割を超え、特に10代以下の今週先週比は1.2倍と増加している。 ● 地域によっては新規感染者数の増加が見られ、特に旭川市や十勝圏では増加が続いている状況。 ● 国の専門家によると、BA.2系統の割合は、全国では約8割まで置き換わりが進んでいるものと推定されている。 ● 道内では186件が検出され、道立保健所管内の検出率は47.6%となっており、BA.2系統への置き換わりが進んでいると考えられる。 ● GWは、旅行や帰省などが増える時期となるため、移動の際の基本的な感染防止行動の徹底、発熱等の症状がある場合には移動を控えることに加え、混雑している場所や感染リスクの高い場所をできるだけ避けることについて、移動をする方と関係する事業者の双方に働きかけることとし、普段、会わない方と接する際の行動の徹底についても呼びかけたい。 ● 飲食については、お花見の多い時期となることから、飲食の際の感染防止行動について徹底を呼びかけるとともに、飲食店等に対し、改めて感染防止対策チェックリスト項目の遵守や第三者認証制度の認証取得を呼びかけることとしたい。 ● 本日、国の新型コロナウイルス感染症対策分科会が開催され、今後の感染拡大時の対応について、議論のたたき台が示された（以上、総政）。 ● 旅行や帰省など移動の際や日常生活において、感染に不安を感じるなど検査を希望される方に対し、無料検査が利用できることを呼びかけることとし、特に、GWにおいては、JR札幌駅や新千歳空港など主要な駅や空港で無料検査を利用できることを積極的に周知したい。 ● ワクチン接種についても、GWは体調管理をしやすい時期となることから、3回目接種を積極的に促進するよう、若年層に対し、様々な媒体を活用し積極的な働きかけを展開するほか、北海道ワクチン接種センターにおける団体接種について、対象となる大学・企業等への情報提供を強化するなど、更なる推進を図っていきたい。 ● ノババックスワクチンについては、国のワクチン分科会において議論が進められていることから、円滑な接種体制の整備に向け、情報収集や関係機関等との調整を加速したい（以上、保福）。 ● 10代の感染が広がっていることから、GWは、児童・生徒の家庭における体調管理の徹底について改めて依頼するとともに、対外試合等を含め、部活動の際の感染防止対策の徹底について、改めて、関係団体も含め参加者全体に呼びかけることとしたい（教育）。 <p>○ 明後日からGWとなるが、これまで長期休暇の後に感染が拡大したという経験があり、今後の感染の急拡大を抑えていく重要な時期となるので、道民の方々や来道されるの方々に向けて広く呼びかけてほしい。</p>

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">○ 無料検査については、札幌駅など主要な駅・空港で検査を受けることができることについて周知を図ってほしい。○ ワクチンの4回目接種に関して、国から具体的な内容について、情報収集に努め、必要な準備を市町村と調整してほしい。○ GWは休みが続くので、体調管理をしやすい時期となる。こうした時期を活用し、特に若い世代の方々の接種を呼びかけてほしい。○ GWに向け、すべての振興局で市町村との情報共有を図るとともに、万全の体制で迎えらるよう、医療機関との連携や業務の体制などについて、改めて確認してほしい。○ 分科会の議論は、本道にとって重要なものであり、引き続き、情報収集に努めてほしい。 |
|--|---|

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年5月13日（金） 10時45分～11時45分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、保福部長、経済部長、コロナ監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長他
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規感染者数は、GW後、全国的に足下で増加。年代別では10代以下の割合が減少したものの、20～30代が増加し、30代以下で約7割を占めている状況となっている。 ● 国の専門家は、GW中は診療や検査数が少なくなっているため、現時点において感染状況を正確に評価することは難しいとしているほか、今後の感染状況については、人の動きが活発になったことなどの感染の増加要因と、3回目接種等による抑制要因に影響されると指摘している。 ● 国の専門家によると、全国でBA.2系統に置き換わったとされ、道内においても、BA.2系統はこれまでに276件が検出され、道立保健所管内の検出率は48.0%、札幌市は70.1%となっている（以上、保福）。 ● 5月12日、岸田総理は参議院厚生労働委員会で、いまの段階で緩和するのは現実的ではないとした一方、屋外で人との感覚が十分取れる場合には外しても構わないとの認識を示した。また、松野官房長官も会見で、これから気温・湿度が高くなり、熱中症のリスクも高くなることから、子どものマスク着用や屋外でのマスク着用など、感染状況等を踏まえ、専門家の意見を聞きながら検討していく考えを示した。 ● 今後の感染の急拡大を防いでいくため、「普段から」「飲食の場面」「感染に不安を感じる時」における3つの行動の再点検やワクチンの3回目接種の促進を呼びかけていくこととしたい（以上、総政）。 ● 若年層の接種促進を目的に実施している企業・大学等を対象とする団体接種について、様々な媒体を活用した働きかけを行い、更なる推進を図るほか、新たに承認されたノババックスワクチンについて、国は各都道府県に対し、1ヶ所以上会場を設置するよう求めており、道としては、北海道ワクチン接種センターにおいて、6月上旬から9月下旬まで接種を実施する方向で関係機関と調整を進めたい。 ● 札幌市は、予約なしで接種可能な特設窓口を5月19日から設置する。窓口はチカホ、接種場所はグランドホテルとなる。 ● 重症化予防を目的に60歳以上の方と基礎疾患を有する方を対象に行われる4回目接種について、国から事務連絡があり、5月下旬から開始できるよう政省令を改正する予定とのこと。 ● 道内における無料検査事業所が5月12日現在で121市町村710ヶ所となった。感染に不安を感じる方の検査ニーズなどに応えていくため、更なる登録事業所の確保を目指したい。 ● 日常生活において感染に不安を感じるなど、検査を希望する方に対し、引き続き、無料検査が利用できることを呼びかけていきたい（以上、保福）。

- 10代の感染が広がっていることから、「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」や「近距離で一斉に大きな声で話す活動」など、学校現場における感染リスクの高い教育活動等に関する留意事項・チェックリストを作成し、注意喚起を行うこととしたい（教育）。
- 一昨日、政府の第1回新型コロナウイルス感染症対応に関する有識者会議が開催された。6月には必要な対応等がとりまとめられる予定（総政）。
- 現在の感染状況は、GWの影響が現れていると考えられることから、増加が一時的なものかどうか、慎重にモニタリングをし、今後の動向を見極めていく必要がある。
- 国の専門家からは、連休中の移動の増加などにより、今後、感染者数が増えることが想定される、と指摘されていることなどから、これまで取り組んできている3つの行動の再点検に加え、ワクチン3回目接種が促進されるよう市町村や関係団体と連携しながら、道民の方々に広く呼びかけてほしい。
- また、新規感染者数の先週比が大きくなるなど、感染の広がりが見られる圏域もあることから、振興局は市町村と連携しながら、早期に注意喚起を行ってほしい。
- マスク着用などの基本的感染対策のあり方については、国において感染状況やウイルスの特徴を踏まえ、専門家の意見を聞きながら、検討していくとの考えが示されたところであり、今後の国の検討状況を注視してほしい。また、気温や湿度が上がり、熱中症のリスクが高くなる時期においては、人との距離が十分ある場合にはマスクを外すことを奨励していることや、子どもについては、発達の状況を踏まえる必要があることから、一律にマスクを着用することは求めているといった現行の取扱いについて、丁寧に周知を図ってほしい。
- 3つの行動の再点検やワクチン接種の働きかけをするにあたり、道庁自らが取り組むことも重要。GWが終了したこのタイミングで、改めて職員に呼びかけを徹底してほしい。
- 政府の有識者会議の議論は、本道にとって重要なものであり、引き続き、議論の詳細について情報収集に努めてほしい。

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年5月20日（金） 11時15分～12時05分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、保福部長、経済部長、コロナ監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長他
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規感染者数は、GWにおける医療機関の休診による影響などにより、増加が続いていたが、先週比では減少している。年代別では、30代以下が依然として約7割を占めている状況にあるが、継続的な集団感染の発生などにより、60代以上の割合が増加してきている。 ● 国の専門家によると、BA.2系統は全国で概ね置き換わったとされ、道内においても398件を検出し、全国と同様の状況になったと考えられる（以上、保福）。 ● 現在、60代以上の増加が続いている。これまで若年層の感染拡大が高齢者に伝播することで、医療への負荷が高まってきた経過がある。今後の感染急拡大を防いでいくため、引き続き、「普段から」「飲食の場面」「感染に不安を感じる時」における3つの行動の呼びかけと20～30代をはじめとした若年層は他の世代に比べ、接種率が低い水準にあることから、市町村や関係団体とも連携しながら、ワクチン3回目接種の呼びかけの取組を一層推進することとしたい（総政）。 ● マスク着用について、昨日、国のアドバイザリーボードが開催され、屋外での着用や未就学児の取扱いについて示された。本日、厚生労働大臣が発表する予定。 ● ノババックスワクチン接種について、北海道ワクチン接種センターにおいて6月5日から接種を開始する。接種開始に向け、市町村や関係機関と連携し、周知を進めていきたい ● ワクチンの4回目接種に向けては、各市町村へのワクチン配分量及び配分スケジュールを決定したところであり、引き続き、円滑な接種の開始に向け、市町村の支援を行っていくこととしたい。 ● 無料検査事業のうち、感染拡大傾向時の一般検査事業については、レベル2相当以上の感染状況が継続していることから、6月末まで期間を延長することとしたい（以上、保福）。 ● どうみん割の対象期間について、現在は5月31日の利用分までとなっているが、引き続き、感染対策を徹底した上で、6月1日から6月30日の利用分まで、対象期間を延長することとしたい。有識者からも特段異論がない旨の意見をいただいている（経済）。 ● 5月17日に第2回新型コロナウイルス感染症対応に関する有識者会議が開催され、日本経済団体連合会、日本商工会議所、全国知事会、全国市長会等との意見交換が実施された。また、本日開催の第3回会議では、医療関係団体や専門家との意見交換がなされる予定（総政）。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">○ 60代以上の方々の割合が徐々に高まってきていることを踏まえ、高齢者施設等において、集団施設を防ぐ取組を再度徹底するとともに、普段会わない高齢者と接する際の健康管理の徹底などについて、市町村とも連携し、働きかけを行ってほしい。○ マスク着用については、アドバイザリーボードを基本に国の方針が決定されるが、具体的な運用にあたっての課題について、国に確認するなど、道としても対応する準備を進めてほしい。○ 20代、30代の感染者が増加しており、3回目接種を加速していく必要がある。○ ノババックスワクチンは、これまで副反応が強く出た方などに、積極的に接種していただける良い機会となるので、市町村や関係機関と連携し、周知を図ってほしい。○ どうみん割については、感染対策を徹底した上で利用していただくよう、利用者と事業者の双方に周知するよう取り組んでほしい。 |
|--|---|

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年5月27日（金） 10時45分～11時45分
場 所	知事応接室
出席者	知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、保福部長、経済部長、コロナ監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長他
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 5月23日に政府対策本部が開催され、基本的対処方針が改正された。6月以降の水際対策の見直し、ワクチンの4回目接種、マスク着用などが主な変更点となっている。 ● 新規感染者数は、8日連続で先週比が1を下回り、減少傾向が継続。年代別では、引き続き30代以下が約7割を占めているほか、60代以上が1割を超えている状況。 ● 新規感染者数をさらに減少させ、医療への負荷を抑えていくため、3つの行動の実践やワクチン接種の促進の働きかけについて、引き続き、「感染拡大防止に向けた道民の皆様へのお願い」として、道民の方々に呼びかけ、協力をお願いしていくこととしたい。 ● こうした「お願い」について、有識者及び専門家の方々からは、概ね妥当であるという意見をいただいている。 「道民へのお願いはわかりやすい。幅広く周知してほしい」「マスクを外せない場の雰囲気が出てしまわないよう周知を徹底」「やや危機感が薄れている傾向があることから、感染拡大防止行動継続の必要性を明確に発していくべき」といったご意見をいただいております、今後の対策の参考としたい（以上、総政）。 ● 自宅療養される方々の利便性の向上を図る観点から、療養者自身が療養解除日の目安を把握しやすくなるよう専用のウェブサイトを5月30日に開設することとしたい。 ● 5月25日からワクチン4回目接種が可能となり、道内の市町村においても、順次接種が開始される。接種が円滑に推進されるよう市町村の支援に努めたい。 ● ノババックスワクチンについては、北海道ワクチン接種センターにおいて、本日から予約受付を開始し、6月5日から接種を開始することとしたい（以上、保福）。 ● 国は昨日、6月10日から外国人観光客の受入を再開することとし、令和2年3月末から運航していなかった新千歳空港における国際線の受入を6月中に再開する考えを示した（経済）。 ● 国が学校等でのマスク着用の考え方を示したことから、登下校、体育の授業や部活動など、それぞれの場面における児童生徒のマスク着用の留意点などについて呼びかけることとしたい（教育）。 <p>○ 新規感染者数は、今月14日をピークに減少に転じた可能性はあるが、もう一段、感染者数を減少させ、医療への負荷を着実に抑えていくため、3つの行動とワクチンの接種について、一人一人の実践につながるよう呼びかけを行ってほしい。</p>

- 最近の感染状況や今後の感染拡大防止について、先日の道市懇で、札幌市の秋元市長とも認識の共有をした。
- 現在の感染状況や医療への負荷の状況を踏まえると、ワクチン接種を着実に進めていくことが重要。秋元市長と連携した取組を進めていくことを確認した。
他の世代と比べ接種率が低い 20～30 代の若年層について、市町村とも連携し、積極的な接種の検討を呼びかけてほしい。
- また、4 回目接種については、対象となる高齢者の方々などが、速やかに接種できるよう、市町村の支援を行ってほしい。
- 5 月 23 日に基本的対処方針が変更され、マスク着用に関し、国の考え方が示された。これから気温や湿度が高くなる時期を迎えることから、屋外での取扱いについて、周知を行うとともに、具体的な運用などについては、今後とも状況に応じ、国に確認を行うなど、丁寧に取組を進めてほしい。
- 6 月 10 日からの外国人観光客の受入再開や6 月中の新千歳空港における国際線受入れの再開について、今後の国の動向について情報収集を行うとともに、引き続き、国に対し、受入再開に当たって必要な対応を求めてほしい。

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年6月3日（金） 11時00分～12時15分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、保福部長、経済部長、コロナ監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長他
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規感染者数は、15日連続で先週比が1を下回り、減少傾向が継続。年代別では、30代以下が約6割と減少しているが、60代以上は1割を超えている状況。 ● 感染者数はまだ高い水準にあり、医療への負荷を抑えていくため、引き続き、3つの行動の実践やワクチン接種の促進について道民の方々に呼びかけていくこととしたい（以上、総政）。 ● ワクチンの3回目接種について、若年層が他の世代と比較して接種率が低いことから、学生をターゲットにしたポータルサイトを5月31日に開設した。このように様々な媒体を活用しながら働きかけを行うとともに、感染による重症化リスクが高い未接種の高齢者への情報提供や接種希望への対応を市町村と連携して取り組むこととしたい。 ● 4回目接種については、多くの市町村で7月までには接種が開始される予定であるが、一部の市町村では調整中となっていることから、希望する方が適切な時期に接種できるよう市町村の支援を行うこととしたい。 ● 4回目接種の対象者の範囲については、国において検討が進められていることから、6月1日、国に対し、現場の意見等を十分に踏まえ、検討を進めるよう道単独で要請を行った（以上、保福）。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 新規感染者数は、4月以降の感染拡大前の水準を下回った状況となっており、病床使用率も増減しつつも減少傾向となっている。 ○ これまで病床使用率や医療への負荷については、市町村や医療関係者の方々に状況を伺いながら対応してきた。感染者数は減少傾向にあるものの、いまだに高い水準にあることから、引き続き、医療への負荷の状況も含め、丁寧にモニタリングを行ってほしい。 ○ 感染を更に抑えていくよう、道民の皆様に、3つの行動の実践とワクチン3回目接種の検討を呼びかけてほしい。特に若年層の接種促進については学生向けポータルサイトを立ち上げたところであり、こうした動きも踏まえて、市町村や関係団体と連携して働きかけてほしい。 ○ 4回目接種については、今後、市町村において順次開始されていくことになるので、速やかな接種に向けて、引き続き市町村をサポートしてほしい。また、接種対象の範囲について、国は、引き続き検討することとしており、道としても国に要請したことから、今後の検討状況について、情報収集に努めてほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年6月10日（金） 10時40分～11時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、保福部長、経済部長、コロナ監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長他
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規感染者数は、先週比が1を下回り、減少傾向が継続しているが、先週比1を上回っている地域もある。年代別では、30代以下の割合が約6割と減少し、60代以上は1割を超えている状況。 ● 新規感染者数の減少傾向が続いていくよう、3つの行動の実践やワクチン接種の促進の働きかけについて道民の方々に呼びかけていくこととしたい。 ● 国がマスク着用の考え方を明確化したことに伴い、道立施設を利用される方々に向け、HPやリーフレット等を活用し、周知を実施することとした（以上、総政）。 ● 病床の確保について、4月に14床を最大確保病床数に追加したところだが、その後も医療機関との調整を継続してきたところであり、今回、65床を追加し、2,212床とする。 ● 北海道ワクチン接種センターにおけるモデルナワクチンの3回目接種については、5月29日をもって終了。2月から3月にかけては高齢者を中心に、4月以降は幅広い年代に接種を実施し、1万回以上の接種を行った。6月5日からはノババックスワクチンの接種に取り組んでいる。各市町村における若年層をはじめとする接種の促進に向け、様々な媒体を活用しながら働きかけていきたい。 ● 4回目接種は、7月から8月にかけて道内の接種対象者がピークになることが想定されているが、一部の市町村では、接種の開始時期が未定となっていることから、市町村の支援に努めることとしたい（以上、保福）。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 新規感染者数、病床使用率のいずれも今年度に入り最も低い水準になっているが、引き続き、感染の広がりを抑えていくよう、道民の皆様には3つの行動の実践とワクチン接種の検討を働きかけてほしい。 ○ 特に、20代、30代の若年層の3回目接種率については、全国を上回って推移しているが、依然、他の世代より低い水準にあることから、市町村とも連携し、積極的に接種を検討していただくよう呼びかけてほしい。 ○ 北海道ワクチン接種センターについては、医師会をはじめ、札幌大、薬剤師会、看護協会など、関係各方面のご理解とご協力のもと、円滑に運営することができた。現在、ノババックスワクチンの接種を行っているが、未接種の方も含め、3回目までの接種を終えていない方々に対して、接種の検討を促してほしい。 ○ ワクチン接種は、今後、4回目接種が本格化していく。希望する方が円滑に接種を受けられるよう、4回目接種の促進に向けて、道の集団接種会場の活用を含め検討してほしい。 ○ このたび、医療機関のご協力のもと、最大確保病床を2,212床とした。引き続き、医療提供体制の確保に万全を期してほしい。（了）

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年6月16日（木） 15時50分～16時10分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、総務部長、総政部長、経済部長、コロナ監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長他
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p style="text-align: center;">〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日、国の第5回新型コロナウイルス感染症対応に関する有識者会議が開催され、「新型コロナウイルス感染症へのこれまでの取組を踏まえた次の感染症危機に向けた中長期的な課題について（案）」が示された。 ● その中では、医療提供体制の強化や特措法の効果的な実施等、感染症拡大防止と社会経済活動の両立に向けた課題と取り組むべき方向性や司令塔機能の強化といった次の感染症危機に対する政府の体制づくりについて整理されている。 ● その後、岸田総理の会見が行われ、政府として、この有識者会議の報告書を受け止め、感染症危機管理の強化に向け、感染症危機管理庁の創設、日本版CDCの創設、厚労省に感染症対策部を新設、自治体と医療機関が事前に協定を締結する仕組みを法的に整備するといった行政権限の強化について言及があった。これらは、明日17日に政府対策本部において決定される予定（以上、総政）。 ○ 明日開催予定の政府対策本部をはじめとして、国の動向については、引き続き、情報収集に努めてほしい。 ○ なお、有識者会議の報告書には、「平時から専門医の養成等に取り組むことも重要」といった感染症に係る人材育成について言及があり、道としても札幌医大と連携するなどして対応していく必要がある。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和4年6月20日（月） 17時05分～18時15分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、経済部長、コロナ監、観光振興監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長他
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規感染者数は、1ヶ月以上に渡り、先週比が1を下回るなど、減少傾向が続いているが、最近の減少の速度は緩やかになってきている状況。 ● 新規感染者数は、5月14日のピークと比べ、約7割減少しているが、引き続き、感染の広がりを抑えていくため、3つの行動の実践やワクチン接種の促進の働きかけていくとともに、気温が上昇する時期になることから、こまめな換気についても呼びかけていくこととしたい。 ● 25日から実施する道共催事業であるガーデンフェスタ北海道2022において、先般、国が明確化したマスク着用の考え方について、恵庭市と連携し、来場された方々に対し、周知を行うこととしている（以上、総政）。 ● 北海道ワクチン接種センターで実施しているノババックスワクチンの接種について、未接種の方を含め、3回目までの接種を終えられていない方々に接種を検討していただけるよう働きかけを行っていく。また、地域の方々が接種しやすいよう、市町村に接種会場の設置について検討を依頼していく。 ● 若年層をはじめとする3回目接種の促進に向け、道内大学と連携し、学生を対象とするセミナーを開催するなど、様々な機会を捉えた周知啓発を行うこととしたい。 ● 4回目接種については、7月2日から北海道ワクチン接種センターで集団接種を開始するとともに、市町村の4回目接種の促進に向け、引き続き、支援に努めることとしたい。 ● 無料検査事業のうち、感染拡大傾向時の一般検査事業については、現下の感染状況を踏まえ、7月末まで期間を延長することとしたい。 ● 現在の確保病床については、3月22日から全道域でフェーズ2としているが、新規感染者数の減少に伴い、病床使用率も下がってきていることなどを踏まえ、フェーズ1への移行を検討することとしたい。判断にあたっては、地域の医療機関等の意見を伺いながら、進めることとしたい（以上、保福）。 ● 6月17日、国は「新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの取組を踏まえた次の感染症危機に備えるための対応の方向性」を決定し、医療提供体制や保健所の体制の強化、特措法の効果的な実施などについて、詳細を検討する具体的事項を示した。今後とも、国の検討状況を注視することとしたい（総政）。 ● どうみん割の対象期間について、現在は6月30日分利用分までとなっているが、引き続き、感染対策を徹底した上で、7月14日利用分まで対象期間を延長することとしたい（経済）。

- 新規感染者数、病床使用率ともに減少傾向が続いているが、最近の感染者数の減少速度は緩やかになってきており、道民の皆様には感染の広がりを抑えていくため、3つの行動の徹底とワクチン接種の検討を呼びかけてほしい。
- これから本格的な夏を迎え、地域イベントが各地で再開されるなど、今後、様々な活動がより一層活発になっていく。感染防止対策はもちろんのこと、参加される方が安心して楽しむことができるよう安全にも十分に配慮した開催となるよう、市町村とも認識を共有し、連携して主催者に働きかけてほしい。
- ワクチンの3回目接種については、全道の接種率が6割を超え、若年層の接種率も着実に増加してきている。もう一段の接種促進に向け、市町村や関係機関と連携し、若年層の接種が進むよう、効果的に働きかけてほしい。
- 4回目接種については、今後、接種時期のピークを迎えることから、市町村における接種の支援とともに、7月2日の接種開始に向け道の接種センターの準備を進めるなど、万全の体制で取り組んでほしい。
- 今回、国が決定した「対応の方向性」に基づき、今後、保健医療体制の強化や特措法に基づく措置の実効性向上などについて、検討が進んでいくが、道ではこれまで重点措置の適用をはじめ特措法の運用について、国としての考え方を示すよう求めてきており、この方向性に基づく国の検討は、本道にとっても重要なものとなることから、引き続き、情報収集に努めてほしい。
- どうみん割については、7月14日分まで延長することとするが、感染対策を徹底した上で利用していただくよう、利用者と事業者の双方に周知するよう取り組んでほしい。

(了)

※（知事○、その他●）